



2021年度 事業報告書

学校法人 桃山学院



2021年度の事業報告にあたって

学校法人桃山学院 理事長 出田 善蔵

桃山学院は1884年、英国聖公会宣教協会（CMS）が大阪の川口外国人居留地（大阪市西区）に三一小学校（男子英学校）を創設したことに端を発します。以後、高等英学校や中学校の開設、キャンパスの移転など幾多の変遷を経て、2019年度には「学院創立135周年・桃山学院大学開学60周年」を迎えました。これまで、昭和町キャンパスに桃山学院中学校と桃山学院高等学校を、和泉キャンパスに桃山学院大学・大学院を設置し、また、2018年には堺キャンパスに桃山学院教育大学を開設しました。本学院は、永い歴史のなかで有為な卒業生を多数輩出し、社会から高い評価を得てきました。創設以来一貫して建学の主旨であるキリスト教精神に基づいた教育を行ってきたことは、ステークホルダーの皆さまの変らぬご尽力の賜と心より感謝申し上げます。

2021年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大が日本社会および世界全体に多大な影響を及ぼしました。本学院においても、各学校における遠隔授業の実施、課外活動の制限、行事・イベントの中止および延期等の措置をとり、学生・生徒の皆さんには多大なご不便をお掛けしました。このような中でも、教職員一丸となって教育の質を担保しつつ、例年どおり卒業生を社会に送り出すことができたことは、ステークホルダーの皆さまのあたたかいご支援のおかげであり、重ねて御礼申し上げます。

このような状況において、理事会のもとに、「桃山学院キャンパス将来計画検討会議」を設け、本学院の有する3つのキャンパスの将来のあるべき姿を検討していただいているところであります。2022年度は引き続き検討を重ね、Society5.0の時代を見据えた新たなキャンパスづくりの方向性を固めたいと考えています。同時に「桃山学院将来構想検討会議」を設置し、2013年に策定し、2022年までの「第二期中長期ビジョン」について1年前倒しで総括し、この経験を踏まえて、2023年から始まる新たな「桃山学院将来構想」の策定に着手しました。未来を見据え、学院内リソースをさらに有機的に活用することによって、経営基盤の強化を図るため、2023年度からの5年計画について、結論を得て、2022年度中に提示いたします。

本学院の主な取り組み

○事業計画と予算にかかるPDCAについて

理事会は、策定された事業計画に対してPDCAサイクルをまわしていくためにモニタリングを実施し、理事会および評議員会を中心にモニター情報を報告してきました。掲げた目標に対して進捗状況を共有することができ、計画に対しての実行を促進することができました。今後もより一層モニタリングを効果的に取り組み、掲げた目標が達成されるよう取り組んでまいります。

○キャンパス整備について

中長期保全計画に基づき、安全確保、学生・生徒の満足度および快適性向上に資する改修を行いました。和泉キャンパスにおいては、総合体育館サブアリーナ空調機工事、3号館310教室特定天井耐震改修工事、堺キャンパスでは、入学定員増加に対応するための大教室化への転換、昭和町キャンパスでは、教室内椅子、机の更新およびF館のトイレ改修等を実施しました。

○ガバナンスの整備と職員人事制度改革について

2017年に制定した学校法人桃山学院「ガバナンスの方針」に基づき、ガバナンス検討会議より答申された具体案をもとに、2020年度に、理事会において寄附行為細則を新たに制定し、理事長および各校長の権限と責任の明確化を図りました。本年度は当該規定に基づく業務運営を開始し、法人および各設置学校における迅速な意思決定を行うガバナンス体制を整備しています。法人および各学校における迅速な意思決定によって本学院の運営がより円滑となるよう、努めてまいります。

また、本学院における諸改革推進意識の醸成、それを担う職員の戦略的な育成、および組織の活性化に向けた働き方改革の実現に向けて、法人・桃山学院大学の専任職員を対象として、本俸等の報酬制度改定を含む新たな職員人事制度を2021年度より導入しました。加えて、大学教員の人事制度改革についても継続的に検討を進めてまいります。

科学技術の進展やグローバル化など変化の激しい現代において、人材育成の点からも教育研究機関への期待が大きくなる一方で、少子化や経済状況の影響等により、私学をとりまく環境は年々厳しさを増し、新型コロナウイルス感染症の影響はまだ続くものと想定されます。本学院としましては、各学校の永続性および発展性を担保し、かつ教育・研究活動の環境整備を支える堅固な財務基盤の構築を目指し、引き続き取り組んでまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

CONTENTS

I. 法人の概要	01	II. 事業の概要	04	III. 財務の概要	06
		1. 桃山学院大学		IV. データで見る桃山学院	18
		2. 桃山学院教育大学		V. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済支援・学習環境等支援	23
		3. 桃山学院中学校高等学校			



I. 法人の概要

1. 建学の精神

学校法人桃山学院の寄附行為には、「この法人は建学の主旨たるキリスト教精神に基づき、教育基本法、学校教育法および私立学校法に則り教育事業を行うことを目的とする。」(第3条第1項)と定められています。

■ 桃山学院の「キリスト教精神」—自由と愛の精神

桃山学院の学院章には、“SEQUIMINI ME”（我に従え）という言葉が刻まれています。それはアンデレがイエスに従ったように、「自由と愛の精神」をもって生きることです。使徒パウロが書いています。

「あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」(ガラテヤの信徒への手紙5章13節)

自由には他者への愛と責任がともないます。「自由」とはひとりひとりの人格と主体性を尊重すること、「愛」とは互いに仕えあいながら他者と共に生きることです。この「自由と愛の精神」は、たんにキリスト教の立場だけではなく、すべての人間が一致しうる普遍的な理念であり、人類共通の目標です。

人間のそのような可能性を開花させながら、高い理想をめざしてチャレンジしつづけていくこと、それこそが桃山学院の一世紀を超える伝統がめざそうとする「キリスト教精神」であり、「世界の市民」への道なのです。

■ 桃山学院の「学院章」



この学院章は、イエス・キリストの最初の弟子である聖アンデレ (St. Andrew) にちなんでデザインされている。「アンデレ・クロス」(X字型の十字架) は、イエスの教えを守り通して殉教したアンデレの偉大なる生涯のシンボルである。「SEQUIMINI ME」(「我に従え」というラテン語) は、アンデレがイエスに出会った時に呼びかけられた言葉である。したがって学院章は、アンデレのように最後まで「自由と愛」のキリスト教精神によって生きを示している。

2. 沿革

1884年	英国聖公会宣教協会(CMS)、大阪川口居留地(大阪市西区川口)に三一小学校(Boys' School)創設	2001年	桃山学院高等学校、国際コース設置(男女共学)
1890年	高等英学校、西区江戸堀の仮校舎で開校(同年末天王寺区筆ヶ崎町に移転、翌年1月新校舎開校式挙行)	2002年	桃山学院大学、法学部法律学科設置/桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(博士後期課程)設置
1895年	高等英学校を桃山学院に改称	2003年	桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(博士後期課程)設置
1896年	桃山学院に改称	2006年	桃山学院大学、経済学部経済学科中国ビジネスキャリアコース設置/桃山学院大学大学院、経営学研究科経営学専攻日中連携ビジネスコース設置(2018年廃止)、文学研究科英語英米文学専攻・比較文化学専攻を英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻の3専攻に改組
1902年	中学校令による認可を受け、私立桃山中学校開校(※大阪で最初の私立中学校)	2007年	桃山学院高等学校、S英数コース設置(男女共学)、標準コースにアスリートクラス設置、英数コースを男女共学化
1912年	現昭和田キャンパス(大阪市阿倍野区)に移転	2008年	桃山学院中学校開校(昭和田キャンパス)/桃山学院大学、文学部を国際教養学部へ改組
1947年	新制桃山中学校発足	2009年	学院創立125周年・大学開学50周年記念式典挙行、記念式典に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Geoffrey Francis Fisher)臨席
1948年	新制桃山高等学校発足	2011年	桃山学院高等学校、標準コースを文理コースに改称(同時に男女共学化)
1949年	桃山学院高等学校、桃山学院中学校に校名変更	2012年	桃山学院大学大学院、文学研究科英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻(博士前期課程)を比較文化学専攻に改組
1951年	学校法人桃山学院認可	2015年	桃山学院大学、国際教養学部国際教養学科を英語・国際文化学科に改称
1959年	桃山学院大学(経済学部経済学科)、昭和田キャンパスで開学。開学式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Geoffrey Francis Fisher)臨席	2017年	ブル学院大学の設置者を本学院に変更する申請が認可
1962年	桃山学院英語学校開校(1983年閉校)	2018年	桃山学院教育大学(教育学部教育学科)、堺キャンパス(堺市南区槇塚台)で開学/桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士前期課程)を言語・文化専攻に改称
1966年	桃山学院大学、社会学部社会学科設置	2019年	桃山学院大学、本町BDL(ビジネスデザインラボ、大阪市中央区)に経営学部ビジネスデザイン学科設置(増設)、学院創立135周年・大学開学60周年
1971年	桃山学院大学、登美丘キャンパス(堺市東区西野)に学舎統合	2020年	桃山学院教育大学、教育学部教育学科を人間教育学部人間教育学科に改称/桃山学院大学、経営学部ビジネスデザイン学科をあべのBDL(ビジネスデザイン・ラボ、大阪市阿倍野区)に移転
1973年	桃山学院大学、経営学部経営学科設置/桃山学院短期大学開学(1990年閉学)	2021年	桃山学院大学、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)
1984年	学院創立100周年記念式典		
1987年	桃山学院高等学校、英数コース設置/桃山学院大学、チャペル地割式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Robert Runcie)臨席		
1989年	桃山学院大学、文学部英語英米文学科・国際文化学科設置		
1993年	桃山学院大学大学院、文学研究科英語英米文学専攻・国際文化学専攻(修士課程)、経営学研究科経営学専攻(修士課程)設置		
1995年	桃山学院大学および法人事務局、和泉キャンパス(和泉市まなび野)に全面移転		
1998年	桃山学院大学、社会学部社会福祉学科設置(増設)/桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(修士課程)設置		
1999年	桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士後期課程)、経営学研究科経営学専攻(博士後期課程)設置		
2000年	桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(修士課程)設置		



1. 法人の概要

■ 聖公会とは

聖公会とは、ローマ・カトリックとプロテスタントに大別される西方キリスト教会の中で、両者の要素を兼ね備えた英国聖公会（Church of England）の流れをくむ教派です。現在、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、太平洋など世界約165ヶ国の国々で活動を展開し、約8,500万人の信徒数を有する組織で、カンタベリー大主教（現在のカンタベリー大主教は、ジャスティン・ウェルビー主教で第105代）を精神的指導者と位置づけています。

このような世界的な組織の中の一つが、日本聖公会です。日本においては、主教・司祭・執事の三職位の聖職や伝道師・宣教師・聖職候補生ら約270名の教役者が約300の教会・礼拝堂・伝道所に遣わされ、キリスト教の宣教活動に加え、様々な教育・医療・社会福祉などの事業を全国各地で行っており、教会では約2万人の信徒が信仰を守っています。

桃山学院は日本聖公会関係学校協議会に加盟しており、加盟校には、立教学院、立教女学院、香蘭女学校、聖路加国際大学、柳城学院、平安女学院、プール学院、松蔭女子学院、八代学院などがあります。

その他の関係施設では、聖路加国際病院、新生病院、聖バルナバ病院はよく知られており、また、多くの社会福祉法人や幼稚園・認定こども園等もあり、日本社会に貢献しています。

3. 設置する学校・学部・学科等（2021年5月1日現在）

◆桃山学院大学

学部

国際教養学部／英語・国際文化学科
社会学部／社会学科、社会福祉学科
法学部／法律学科
経済学部／経済学科
経営学部／経営学科
ビジネスデザイン学部／ビジネスデザイン学科

大学院

文学研究科（博士前期・後期課程）
社会学研究科（博士前期・後期課程）
経済学研究科（博士前期・後期課程）
経営学研究科（博士前期・後期課程）

◆桃山学院教育大学

人間教育学部／人間教育学科（幼児教育課程、小学校教育課程、健康・スポーツ教育課程）

◆桃山学院中学校

6年一貫コース（選抜、進学）

◆桃山学院高等学校

S英数コース、英数コース、文理コース、国際コース、中高一貫コース

4. 校地・校舎等の概要

(1)校地等所在地（2022年3月31日現在）

名 称	所 在 地
法人事務局	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 [和泉キャンパス]
桃山学院大学	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 [和泉キャンパス]
	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-57 聖テモテ館4階～9階 [あべのBDL（ビジネスデザイン・ラボ）]
	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3-5-19大阪ディーアイシービル4F [本町サテライト]
桃山学院大学大学院	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 [和泉キャンパス]
桃山学院教育大学	〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台4-5-1 [堺キャンパス]
桃山学院中学校高等学校	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64 [昭和町キャンパス]※聖テモテ館1階～3階含む



和泉キャンパス

(2)土地・建物面積（2022年3月31日現在）

名 称	土地面積(m ²)	建物床面積(m ²)
和泉キャンパス	149,056.00	86,166.65
松尾寺グラウンド	35,384.00	719.91
堺キャンパス	37,431.00	17,370.66
昭和町キャンパス	26,395.00	45,319.97 (※)
本町サテライト〈賃借〉	—	1,013.76
その他土地（奈良/滋賀/長野）	8,254.00	—
計	256,520.00	150,590.95

※あべのBDL含む



堺キャンパス



昭和町キャンパス



5. 役員・評議員の概要 (2022年3月31日現在)

(1)役員 (定員 理事:11名以上15名以内、監事:3名)

理事長	出田 善蔵				
学院長	磯 晴久				
常務理事	岡田 賢三	中辻 努	中西 正人	牧野 丹奈子	
理事	(非常勤) 磯 晴久	／桃山学院長			
	(常勤) 牧野 丹奈子	／桃山学院大学長			
	(常勤) 中西 正人	／桃山学院教育大学長			
	(常勤) 岡田 賢三	／桃山学院高等学校長			
	(常勤) 中辻 努	／桃山学院事務局長			
	(非常勤) 内田 望				
	(非常勤) 上原 猛				
	(常勤) 藤見 昌宏	／桃山学院高等学校教頭			
	(常勤) 中野 瑞彦	／桃山学院大学副学長			
	(非常勤) 田尻 忠邦				
	(非常勤) 山崎 周子				
	(常勤) 出田 善蔵	／桃山学院理事長			
	(非常勤) 廉林 光夫				
	(非常勤) 飼馬 誠				
	(非常勤) 山田 陽彦				
監事	(非常勤) 岸脇 淳介				
	(常勤) 木下 洋一				
	(非常勤) 戸松 幹孝				

(2)評議員 (定員 30名以上36名以内)

桃山学院長	磯 晴久								
桃山学院大学長	牧野 丹奈子								
桃山学院大学副学長	中野 瑞彦								
桃山学院大学の各学部長	島田 克彦	名部 圭一	藤田 智子	佐々木 英哲	田中 志津子	菊地 昌弥			
桃山学院教育大学長	中西 正人								
桃山学院教育大学学部長	鎌田 首治朗								
桃山学院高等学校長	岡田 賢三								
桃山学院事務局長	中辻 努								
桃山学院中学校高等学校教員事務職員	藤見 昌宏	生田 耕三	山中 一雄	原 徹	嶋田 剛				
卒業生	田尻 忠邦	上田 信夫	宗川 暢一	上原 猛	藤原 達治郎	奥田 通雄			
日本聖公会教役者または信徒	宇野 哲夫	齊藤 壹	原田 光雄	内田 望					
学識経験者	馬越 かよ子	石川 清	藤原 睦代	相間 靖三	山崎 周子				

6. 教職員の概要 (2021年5月1日現在)

(1)教員数

学 部	教 授	准教授	講 師	計	共通教育機構 契約教員	兼任講師	チャブレン
社会	16	18	0	34			
法	14	4	2	20			
経済	16	13	6	35			
経営	17	8	4	29			
ビジネスデザイン	8	3	3	14			
計	85	55	16	156			

学 部	教 授	准教授	講 師	助 教	計	兼任講師	チャブレン	
桃山学院教育大学	人間教育	22	15	4	2	43	90	1

	教諭(※1)	常勤講師	英語科特別教員	計	兼任講師
桃山学院中学校高等学校	79	30	1	110	68

※1:チャブレン1名を含む

(2)職員数

所 管	専 任	特定業務	契 約	派 遣	パート・アルバイト	実習助手	計
法人事務局	30 (※1)	4	7	8	5	0	54
桃山学院大学	61	1	23	24	16	3	128
桃山学院教育大学	14	1	12	8	2	0	37
桃山学院中学校高等学校	7	0	1	5	5	2	20
計	112	6	43	45	28	5	239

※1:出向者2名を含む



II. 事業の概要

1. 桃山学院大学

■ 教育理念

桃山学院大学では、開学以来「キリスト教精神に基づいて人格を陶冶し、世界の市民として広く国際的に活躍し得る人材の養成」を建学の精神とし、つねに行動力のある「世界の市民」の養成につとめてきました。これまで経験したことのない、新しい国際時代を迎えた今日、言語や文化の違いを超えた「地球社会」への積極的な貢献こそが、本学に求められる重要な使命（ミッション）であると考えます。



学長 中野 瑞彦

■ ミッションステートメント（社会的使命）

桃山学院大学は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、ここに集うすべての人の多様な価値観を認め合いながら、向上心を絶やさず、みずから考え、積極的に行動する世界の市民を育むことを使命とする。

■ 学長、副学長、学部長、研究科長（2021年度）

学 長：牧野 丹奈子	国際教養学部長：佐々木 英哲
副学長：中野 瑞彦	社会学部長：名部 圭一
副学長：巖 圭介	法学部長：田中 志津子
副学長：辻本 法子	経済学部長：島田 克彦
副学長：角谷 嘉則	経営学部長：藤田 智子
	ビジネスデザイン学部長：菊地 昌弥
	文学研究科長：林 宅男
	社会学研究科長：小野 達也
	経済学研究科長：辻 洋一郎
	経営学研究科長：小澤 義昭

■ 主要課題への取り組み

1. 初年次教育の改革

- ①低年次生の共通時間割の策定については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、未着手となりました。2022年度からの第二次大学中期計画において引き続き検討をしていきます。
- ②高大接続を意識した内容の入学前教育プログラムを開発し、新入生に公開しました。
- ③初年次生向けの科目「プレゼンテーション入門」を開発し、実施しました。なお、2022年度は正課科目として開講しています。
- ④デジタルバッジ・ポートフォリオシステムの導入については、引き続き検討をしていきます。

2. 創造力、実践力を高める教育の推進

- ①「2022年度以降の授業に関するプロジェクト・チーム」からの答申を参考に検討した結果、引き続き継続して検討することとしました。

- ②学生のBYODに対応して、語学教室へのPC設置、ノートPC充電ロッカーの新設を行いました。
- ③新たな教育の在り方に対応するため、2021年10月に新学習指導要領に関する全学FD研修会を開催しました。

3. 地域住民・学生の地域連携による体験型学習支援

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、様々な制限がある中で、「4つの約束※」を中心に、次の取り組みを行いました。

- ①イズミヤゆいテラス河内長野において、学生の組織化も進み、現地の方々の協力も得ながら、2022年度中に学生が主体となり、現地を活用したプログラムを計画できる状態に近づきつつあります。また、現地に関わる企業より、活動に参加する学生へ技術指導をいただくなど、本学とのWin-Winの関係構築ができています。
- ②和泉市については、これまでの連携に加え、市内の義務教育校との連携等の新たな連携に着手しています。
- ③岸和田市については、教育への協力のニーズも高く、本学との連携を検討中です。
- ④泉大津市は経営学部での実践教育での連携が継続しており、ビジネスデザイン学部との連携も行われています。
- ⑤あべのBDLでは「一般社団法人アーバンツーリズム大阪・船場」との連携の一環として、2025年開催予定の大阪関西万博の共創チャレンジメンバーにも加わっています。その流れもあり、「大阪船場コレクション2022」実行委員会にも参画（学生プログラムあり）しました。またビジネスデザイン学部学生の課外活動として地元商店街の活性化プログラムにも参画しています。
- ⑥「地域連携特別講義」については、今年度2科目を開講し、受講生はその後、地域でのまちづくり活動に興味をもち、学内のプログラムや個人での地域活動への参加学生も増えてきています。2022年度はさらに2科目を新規開講します。
- ⑦2022年度より地域連携機構をさらに推進するため、「地域連携課」を設置します。
※南大阪エリアの4市（和泉市、泉大津市、河内長野市、岸和田市）それぞれと地域連携に関する取り組みを確認のうえ約束を取り交わしました。

4. 文部科学省「高大接続改革※」への対応

- ①新たにオンデマンドで受講する入学前教育を開発し、PCスキル基礎を含めた学習コンテンツを新入生に入学前から提供しました。
- ②高大接続プログラムとして、経済学部、経営学部、国際教養学部、ビジネスデザイン学部で高校を対象に実施しました。
※文部科学省では、変化の激しい時代において、新たな価値を創造していく力を育成するために、高大接続改革の取り組みを進めています。

※各学部学科および各研究科の「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」については、大学Webサイトにて公表しています。

2. 桃山学院教育大学

■ 教育理念

桃山学院教育大学は、すべての学生が、本学の生活を通じて人間として成長・成熟し、自分自身の人生を自覚した責任あるものとして生きていく力（我の世界を生きる力）、有能な社会人として生きる力（我々の世界を生きる力）をつける「人間教育」をめざしています。その上で、教育者としての社会的使命を果すべく、知識や技能、思考力や問題解決力等を指導できる「実践的な力」に加え、「人間教育」へ導く力を涵養します。



学長 中西 正人

■ ミッションステートメント（社会的使命）

キリスト教精神に基づく人間教育を実現し、自らを磨き、人生を主体的に生き抜く個人の育成を使命とする。

■ 学長、副学長、学部長（2021年度）

学 長：中西 正人
副学長：比嘉 悟
学部長：鎌田 首治朗

■ 主要課題への取り組み

1. 教員採用試験合格対策

2018年度の桃山学院教育大学開学と同時に入学した学生の熱意に応え、教職センター等の講師・スタッフとチューターの連携による正課およびプログラムでの徹底した指導をおこないました。その結果、今期の学校教員採用試験等の現役合格者は、75名（うち公立学校53名、公立保育園4名）となりました。このうち特に、難関である中学校・高等学校の保健体育では、5名が合格しました。



2. 教育内容の充実

①新コース、新プログラムの着実な運用と展開

2021年度からの国語教育コース、英語教育コースカリキュラムおよび3つのチーム学校プログラム(日本語教員養成プログラム、教育相談実践基礎プログラム、部活動指導者養成プログラム)については、問題なく運用できました。英語教育コースでは2022年4月に英語能力テスト(GTEC)を実施し、入学時の英語の学力を確認し、今後の運営に活用する予定です。

②教育の情報化への対応

2022年度に向けて、教職課程の教育方法の科目に「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の内容を追加しました。また、「教理・データサイエンス・AI教育」の内容をカリキュラムに盛り込み、情報活用能力を身に付けることができるよう内容をあらためました。また、ICT対応の教室および機器・教材等の整備ができるよう次年度予算として計上し、次年度へ繋げることができました。

3. 地域等との連携強化

今年度は新たに大阪府豊能地区教職員人事協議会(豊中市、池田

市、箕面市、豊能町、能勢町)、大阪狭山市教育委員会と連携協定を結びました。また、羽曳野市教育委員会と教員養成のための連携協定を結びました。その他、大阪狭山市の中学校と桃教スポーツアカデミーとの連携による運動部活動を支援する取組は、関係団体と調整してきたものの、コロナ禍の影響により実施できませんでしたが、その具体的な計画は令和3年度スポーツ庁地域運動部活動推進事業の成果報告書で報告されました。

(https://www.mext.go.jp/sports/content/20220324-spt_sseisaku02-1405721_070.pdf)

4. 桃山学院大学との連携強化

授業においては、本学では、健康・スポーツ教育課程の学生が桃山学院大学の充実した体育施設等で授業を行いました。また、桃山学院大学の学生が単位互換制度を利用し、本学の授業を履修し、単位を修得しました。その他に、就職活動イベント等を共同で実施するとともに、桃大生との交流も行いました。

※「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」については、大学Webサイトにて公表しています。

3. 桃山学院中学校高等学校

■ 教育方針

桃山学院中学校高等学校では、キリスト教精神を教育の大きな柱として、生徒一人ひとりの人格を尊重し、健やかな心身の成長と豊かな学力の形成をめざすことで社会のために責任ある一員となる人物を育てることを教育の基本方針としています。生徒を信頼し、自由を尊重する民主的な校風のもと、のびのびと学生生活を送ってもらうことで、自らの責任を自覚し、自主的な規律を持ち、それを守っていく良識ある若者を育てていきます。



学校長 岡田 賢三

■ ミッションステートメント(社会的使命)

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、生徒一人ひとりを大切に、個々の生徒が持つ多様な可能性を開花させ、健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

■ 校長、教頭、チャプレン、部長、主任 (2021年度)

校長	: 岡田 賢三		
高校教頭	: 藤見 昌宏		
中学教頭	: 生田 耕三		
チャプレン	: 義平 雅夫	高校3学年主任:	塩田 北斗
教務部長	: 北野晋一郎	高校2学年主任:	谷村 憲貴
生活指導部長代行:	吉田 哲也	高校1学年主任:	井上 昌彦
進路指導部長	: 川田久美子	中学主任代表:	田中 秀幸
自治会指導部長	: 濱井 俊行		

■ 主要課題への取り組み

1. 進路指導の充実

長期的国公立合格者実績向上のため、中学校における学習取り組みの充実を図りました。恒常的に放課後の自習教室を開講するだけでなく、早朝テストの不合格者は再テストで満点を取るまで居残り勉強をする「満点教室」、成績不振者を対象とした個別指導の「学習支援教室」、成績上位者のための「S1ゼミ」、需要度の高い「英検講習」なども同時進行したことが、多様な生徒に対するきめ細やかな指導を実践しました。

生徒自身の第一志望合格支援体制としての、東大オンラインチューター制度が功を奏し、現役での東大合格者が出たことは生徒一担任一進路指導部という連携がうまくとれていたことの証であろうと思われます。今後も新しい取り組みを恐れず、生徒へ還元できる進路指導体制を整えていく所存です。

2. 教員指導力の向上

2020年度より引き続き、今年度も希望者8名(すべて新任常勤講師)が〔授業研究所〕セミナーを4日間(計20時間)受講しました。また、生徒対象の授業アンケートも実施し、それぞれの評価を教科等で共有、指導力向上に繋がりました。

3. グローバル教育の推進

交換留学制度の新たな留学先校を確保するよう努める計画でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、実施できませんでした。また、マレーシア・台湾・カナダ・中学のニュージーランド研修についても、実施できませんでした。

4. SDGs 活動への取り組み

- ①周辺地域の児童を集め、高校生たちが学習支援を行なう「寺子屋SBS」という企画を数回実施しました。また国内のSDGs関連のコンテストやイベントなどに多数参加しました。
- ②12月にF館の4階4教室の壁面塗装を行いました。高1で22名の生徒が参加しました。また、塗料報知新聞・FINEXなどの業界紙に活動内容が掲載されました。
- ③教職員向けAED講習会は実施しましたが、講演会・講座については新型コロナウイルス感染拡大のため実施できませんでした。
- ④段ボール箱8箱分(約160kg)のカイロを回収&解体作業を3月に実施しました。また、文化祭にてSDGsについての広報活動を学内生徒に向けて行いました。



III. 財務の概要

私立学校法および学校法人会計基準に基づき作成した計算書類について、その概要を以下のとおり記載し報告いたします。

なお、ここでの数値比較は、資金収支計算書および事業活動収支計算書につきましては予算額を、貸借対照表につきましては前年度残高をもとにしています。また、各資料に用いた数値はそれぞれ千円単位未満を四捨五入しているため、合計額が一致しないことがあります。

■ 学校法人会計について

学校法人は教育研究活動を第一の目的とし、経費の大部分を学生からの学費や税金を原資とした補助金で賄っているため、極めて公共性の高い法人といえます。その公共性の高さから、企業が営利を主たる目的とするのとは異なり、学校法人は利益の獲得を目的とすることはありません。そのため、学校法人会計では、収支の均衡の状態および財政状態を正確に把握し、公共性の高い法人として永続的な発展を図ることが主な目的になっています。

■ 基本金について

学校法人が教育研究活動を行っていくためには資産（校地・校舎・機器備品・現金預金）の維持・充実が必要不可欠です。そのために必要な金額を教育研究計画に基づき、負債とならない学校法人全体の収入の総額（以下、事業活動収入）から組入れたものが「基本金」です。「基本金」には以下の4種類があります。

第1号基本金：自己資金で取得した固定資産の額（校地、校舎、機器備品、図書等の固定資産として保有）

第2号基本金：将来、固定資産を取得するために事前に留保した資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

第3号基本金：基金として継続的に保持・運用する資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

第4号基本金：学校法人の円滑な運営に必要な運転資金として保持する資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は当該会計年度の諸活動における全ての収入と支出を明らかにして、支払資金の顛末をあらわす計算書です。この計算書の特徴は収入と支出を全て現金預金で行われたものとみなして表示し、実際には当該年度の現金預金の収支ではない期末未収入金、前期末前受金、期末未払金などを資金収支の調整勘定として差引調整計算することで期末現金預金残高を翌年度繰越支払資金として表示する所に特徴があります。

(収入の部)		【単位：千円】		
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	9,145,274	9,153,867	△ 8,593	
手数料収入	231,766	234,420	△ 2,654	
寄付金収入	35,481	47,391	△ 11,910	
補助金収入	2,241,943	2,346,961	△ 105,018	
資産売却収入	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	24,017	21,234	2,783	
受取利息・配当金収入	15,257	15,681	△ 424	
雑収入	246,417	269,501	△ 23,084	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	1,701,744	1,740,132	△ 38,388	
その他の収入	517,839	520,915	△ 3,076	
資金収入調整勘定	△ 1,978,078	△ 1,990,910	12,832	
前年度繰越支払資金	8,690,215	8,690,214		
収入の部合計	20,871,875	21,049,407	△ 177,532	

(支出の部)		【単位：千円】		
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	6,585,276	6,570,163	15,113	
教育研究経費支出	3,406,768	3,109,825	296,943	
管理経費支出	899,998	827,209	72,789	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	157,634	130,660	26,974	
設備関係支出	136,646	120,706	15,940	
資産運用支出	200,000	200,000	0	
その他の支出	473,898	464,158	9,740	
予備費	38,877		38,877	
資金支出調整勘定	△ 252,785	△ 315,768	62,983	
翌年度繰越支払資金	9,225,563	9,942,454	△ 716,891	
支出の部合計	20,871,875	21,049,407	△ 177,532	

【概 況】

2021年度の決算は、収入の部合計で1億7,753万円増加の210億4,941万円となりました。これは主に「補助金収入」の増加によるものです。「補助金収入」については、桃山学院大学の経常費補助金収入が8,527万円増加、桃山学院教育大学の経常費補助金収入が1,250万円増加、桃山学院高等学校の経常費等補助金収入が1,541万円増加したことが要因となります。

一方、支出の部では「教育研究経費」が2億9,694万円減少しました。これは経費削減に努めたことに加えて、「高等教育の修学支援新制度」の対象者が予測を下回ったことで奨学費支出が減少したこと、課外活動や留学支援などコロナ禍において実施できなかった業務が発生したことなどによるものです。

このように収入増、支出減の結果、翌年度繰越支払資金は7億1,689万円増加の99億4,245万円となりました。



資金収支における勘定科目について

<資金収入の部>		<資金支出の部>	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金等の在学を条件として義務的にかつ一律に納付される収入	人件費支出	教職員(アルバイト等含む)に支給する本俸、期末手当、その他手当および専任教職員の退職金財団掛金等
手数料収入	入学試験・編入学試験および各種証明書の発行の際に徴収する収入	教育研究経費支出	教育研究のために要する消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費等の経費
寄付金収入	金銭等の寄付による収入	管理経費支出	教育研究経費以外の消耗品費、光熱水費、旅費交通費、広告費等の経費
補助金収入	国や地方公共団体およびこれに準ずる機関から交付される補助金	借入金等利息支出	借入金等の利息の返済にかかる支出
資産売却収入	固定資産等の売却にかかる収入	借入金等返済支出	借入金等の元金の返済にかかる支出
付随事業・収益事業収入	学校法人の補助活動事業、附属事業、受託事業および収益事業などからの収入	施設関係支出	資産運用の目的で取得するものを除く、土地・建物等の取得にかかる支出
受取利息・配当金収入	預金、貸付金、有価証券等の利息や配当金による収入	設備関係支出	機器備品、図書等の取得にかかる支出
雑収入	学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入	資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得にかかる支出
借入金等収入	学校債の発行や銀行等からの借入金による収入	その他の支出	貸付金、仮払金等の上記支出以外の支出
前受金収入	翌年度入学の生徒にかかる学生生徒等納付金収入やその他の前受による収入	予備費	予算化されていない突発的な事象に対応するための経費
その他の収入	各種特定資産からの繰入収入や貸付金回収収入、預り金等	資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出ではあるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは翌年度以降になるもの
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対する収入ではあるが、実際の資金の収入が前年度以前にあったものまたは翌年度以降になるもの		

2. 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は資金収支計算書の内容を3つの活動区分(教育活動、施設整備等活動、その他の活動)に区分し、活動区分ごとに資金の流れを明らかにするための資料です。

その中でも、教育活動の区分は、学校法人のいわゆる本業にあたる部分となり、教育活動資金収支差額は、本業での資金の顛末を明らかにしています。

【単位：千円】

科 目		金 額	科 目		金 額	科 目		金 額		
教育活動による資金収支	学生生徒等納付金収入	9,153,867	施設整備等活動による資金収支	施設設備寄付金収入	6,420	その他の活動による資金収支	収入	その他の活動資金収入計	256,184	
	手数料収入	234,420		施設設備補助金収入	14,787		支出	支出	その他の活動資金支出計	79,453
	特別寄付金収入	26,293		施設整備等活動資金収入計	21,207			差引	176,731	
	一般寄付金収入	14,678	施設関係支出	130,660	調整勘定等			218		
	経常費等補助金収入	2,332,174	設備関係支出	120,706	その他の活動資金収支差額			176,949		
	付随事業収入	21,234	減価償却引当特定資産繰入支出	200,000	支払資金の増減額			1,252,240		
	雑収入	269,241	施設整備等活動資金支出計	451,366	(小計+その他の活動資金収支差額)					
	教育活動資金収入計	12,051,907	差引	△ 430,160	前年度繰越支払資金	8,690,214				
	人件費支出	6,570,163	調整勘定等	△ 25,855	翌年度繰越支払資金	9,942,454				
	教育研究経費支出	3,109,825	施設整備等活動資金収支差額	△ 456,015						
	管理経費支出	827,209	小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)	1,075,291						
	教育活動資金支出計	10,507,196								
	差引	1,544,711								
調整勘定等	△ 13,406									
教育活動資金収支差額	1,531,305									

【概況】

はじめに学校法人の本業にあたる教育活動による資金収支差額は、15億3,131万円となりました。

次に施設整備等活動による資金収支については、キャンパス更新工事に伴う施設関係支出1億3,066万円、情報機器などの備品や図書の購入に伴う設備関係支出1億2,071万円を計上したことにより、施設整備等活動資金収支差額は4億5,601万円の支出超過となりました。

それらの要因に財務活動や預り金の受払い等の経過的な活動を記載するその他の活動による資金収支を加算した結果、支払資金の増減額は12億5,224万円の増加となりました。



III. 財務の概要

3. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は当該会計年度の活動に対応する「事業活動収入」および「事業活動支出」の内容と、基本金組入後の均衡の状態を明らかにする計算書類です。この計算書で用いられる「事業活動収入」とは学校法人の負債とならない収入であり、「事業活動支出」は実際には現金預金の支出を伴わない減価償却額や退職給与引当金繰入額などを含めた金額となります。

【単位：千円】

【単位：千円】

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	9,145,274	9,153,867	△ 8,593	
	手数料	231,766	234,420	△ 2,654	
	寄付金	33,361	41,862	△ 8,501	
	経常費等補助金	2,229,662	2,332,174	△ 102,512	
	付随事業収入	24,017	21,234	2,783	
	雑収入	228,931	253,140	△ 24,209	
	教育活動収入計	11,893,011	12,036,696	△ 143,685	
	教育活動支出の部	人件費	6,530,504	6,522,202	8,302
		教育研究経費	4,678,964	4,378,258	300,706
		管理経費	1,060,079	986,798	73,281
徴収不能額等		0	0	0	
教育活動支出計		12,269,547	11,887,259	382,288	
教育活動収支差額		△ 376,536	149,437	△ 525,973	
教育活動外収支の部	受取利息・配当金	15,257	15,681	△ 424	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	15,257	15,681	△ 424	
	借入金等利息	0	0	0	
	その他の教育活動外支出	0	0	0	
	教育活動外支出計	0	0	0	
	教育活動外収支差額		15,257	15,681	△ 424
	経常収支差額		△ 361,279	165,119	△ 526,398

科 目		予 算	決 算	差 異
特別収入の部	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	15,214	29,608	△ 14,394
特別収入計		15,214	29,608	△ 14,394
特別支出の部	資産処分差額	29,904	54,759	△ 24,855
	その他の特別支出	0	0	0
特別支出計		29,904	54,759	△ 24,855
特別収支差額		△ 14,690	△ 25,150	10,460
予備費		65,418		65,418
基本金組入前当年度収支差額		△ 441,387	139,968	△ 581,355
基本金組入額合計		△ 170,735	△ 139,052	△ 31,683
当年度収支差額		△ 612,122	916	△ 613,038
前年度繰越収支差額		△ 4,621,456	△ 4,621,455	△ 1
基本金取崩額		0	7,652	△ 7,652
翌年度繰越収支差額		△ 5,233,578	△ 4,612,887	△ 620,691
(参考)				
事業活動収入計		11,923,482	12,081,986	△ 158,504
事業活動支出計		12,364,869	11,942,018	422,851

【概況】

事業活動収入では、予算額に比して1億5,850万円の増加となりました。これは主に「経常費等補助金」の増加によるものです。「経常費等補助金」の増加については、桃山学院大学の経常費補助金が8,527万円増加、桃山学院教育大学の経常費補助金収入が1,250万円増加、桃山学院高等学校の経常費等補助金が1,541万円増加したことが主な要因となります。

事業活動支出では、教育研究経費および管理経費などの減少により、事業活動支出計で119億4,202万円となり、4億2,285万円減少しました。これは既述の通り、経費削減に努めたことに加えて、「高等教育の修学支援新制度」の対象者が予測を下回ったことで奨学費が減少したこと、課外活動や留学支援などコロナ禍において実施できなかった業務が発生したことなどによるものです。

このように収入増、支出減の結果、基本金組入前当年度収支差額は1億3,997万円の収入超過となり、事業活動収支差額比率は1.16%となりました。

また、基本金組入額は、1億3,905万円となり、その主な内容は図書や備品関係などの恒常的な取得資産の他にキャンパス更新工事に伴う組入があげられます。

事業活動収支における勘定科目について

<事業活動収入の部>

学生生徒等納付金	資金収支に同じ
手数料	資金収支に同じ
寄付金	資金収支に現物寄付を加えた額(施設設備に係る寄付金・現物寄付を除く)
経常費等補助金	施設設備補助金以外の補助金
付随事業収入	学校法人の補助活動事業、附属事業および受託事業などからの収入
雑収入	資金収支に同じ
受取利息・配当金	資金収支に同じ
その他の教育活動外収入	収益事業などからの収入
資産売却差額	資産売却収入が、当該資産の帳簿残高を超えた場合、その超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金・現物寄付、施設設備補助金及び過年度修正額(前年度以前の収入または支出の修正額で当年度の収入となるもの)などによる収入
事業活動収入	学校法人に帰属する負債とならない全ての収入
基本金組入額	第1号から第4号までの基本金の組入額の合計

<事業活動支出の部>

人件費	資金収支の人件費支出から退職金支出を除き、退職給与引当金繰入額を加えた額
教育研究経費	資金収支の教育研究経費支出に減価償却額を加えた額
管理経費	資金収支の管理経費支出に減価償却額を加えた額
減価償却額	教育研究経費、管理経費共通の科目であり固定資産の当年度の減価償却額の合計
借入金等利息	資金収支に同じ
資産処分差額	資産を売却したその代価が帳簿残高を下回った場合、その差額や資産を除却した際の除却額
その他の特別支出	災害損失や過年度修正額(前年度以前の収入または支出の修正額で当年度の支出となるもの)などによる支出
予備費	資金収支に同じ
事業活動支出	上記支出の合計額
基本金組入前当年度収支差額	事業活動収入から事業活動支出を差し引いたもの



4. 貸借対照表

貸借対照表は当該年度末時点での資産・負債・基本金・繰越収支差額の内容を明確にし、学校法人全体の財政状態を把握することを目的としています。また、学校法人では固定資産が主要な財産の大部分を占めているため、ほとんどの一般企業が採用している「流動性配列法」ではなく、固定資産から配列していく「固定性配列法」を採用しています。

【資産の部】 【単位：千円】

科 目	2021年度末	2020年度末	増減
固定資産	77,317,381	78,551,103	△ 1,233,722
有形固定資産	53,704,850	54,927,233	△ 1,222,383
土地	23,442,579	23,442,579	0
建物	22,985,989	23,856,935	△ 870,946
構築物	483,004	555,614	△ 72,610
機器備品(教育研究用・管理用)	983,757	1,240,939	△ 257,182
図書	5,808,167	5,829,073	△ 20,906
車両	1,355	2,094	△ 739
特定資産	23,469,219	23,469,219	0
第3号基本金引当特定資産	2,225,606	2,225,606	0
減価償却引当特定資産	17,040,000	16,840,000	200,000
将来構想資金引当特定資産	3,613	3,613	0
その他の引当特定資産	4,200,000	4,400,000	△ 200,000
その他の固定資産	143,312	154,651	△ 11,339
長期貸付金	90,107	101,446	△ 11,339
その他(施設利用権他)	53,206	53,206	0
流動資産	10,206,996	9,042,144	1,164,853
現金預金	9,942,454	8,690,214	1,252,240
未収入金	195,980	281,868	△ 85,888
その他(前払金他)	68,562	70,061	△ 1,499
資産の部合計	87,524,377	87,593,247	△ 68,870

【負債及び純資産の部】 【単位：千円】

科 目	2021年度末	2020年度末	増減
固定負債	3,564,467	3,673,082	△ 108,615
長期未払金	806,631	884,467	△ 77,836
退職給与引当金	2,757,836	2,788,615	△ 30,779
流動負債	2,832,788	2,933,011	△ 100,223
未払金	360,110	347,181	12,930
前受金	1,740,132	1,796,126	△ 55,994
その他(預り金他)	732,545	789,705	△ 57,159
負債の部合計	6,397,255	6,606,093	△ 208,838
基本金	85,740,009	85,608,609	131,400
繰越収支差額	△ 4,612,887	△ 4,621,455	8,569
純資産の部合計	81,127,122	80,987,154	139,968
負債及び純資産の部合計	87,524,377	87,593,247	△ 68,870
純資産構成比率(純資産/総資産)	92.7%	92.5%	

【概況】

有形固定資産では、法人全体で2億5,137万円の設備投資を実施したものの、減価償却額がそれを上回り有形固定資産全体で12億2,238万円の減少となりました。特定資産では、減価償却引当特定資産に2億円の繰入を実施しましたが、学院全体の奨学費支出(高等教育の修学支援新制度に係る支出を除く)の資金対応として奨学資金引当特定資産を2億円取崩したことにより、前年度と同額を計上することとなりました。その他の固定資産では、長期貸付金が1,134万円減少しました。その結果、固定資産は12億3,372万円減少し、773億1,738万円となりました。

流動資産では、大規模な設備投資が無かったことなどから現金預金が増加し、11億6,485万円増加の102億700万円を計上しました。その結果、資産の部合計は、6,887万円減少し、875億2,438万円となりました。

負債の部では、固定負債における長期未払金(リース資産)が減少し、流動負債においても前受金や修学旅行費預り金の減少により、負債合計で2億884万円の減少となりました。

結果、純資産額は2020年度末に比して、1億3,997万円増加の811億2,712万円となり、純資産構成比率は92.7%となりました。

貸借対照表における勘定科目について

有形固定資産	土地・建物・構築物・機器備品・図書等	固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
特定資産	各種特定資産	流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
その他の固定資産	長期貸付金、長期に保有する有価証券等	基本金	第1号～第4号基本金
流動資産	現金預金、短期貸付金、前払金等	繰越収支差額	当年度末における収支差額の累積額



III. 財務の概要

5. 財務状況の推移

(1) 連続資金収支計算書 (2016年度～2021年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
資金収入						
学生生徒等納付金収入	8,183,986	8,100,228	8,635,006	8,572,638	8,668,969	9,153,867
手数料収入	208,629	241,293	303,548	315,835	239,136	234,420
寄付金収入	43,217	49,153	56,628	78,919	170,936	47,391
補助金収入	1,503,051	1,549,094	1,659,087	1,609,088	2,117,466	2,346,961
資産売却収入	0	0	0	512	0	0
付随事業・収益事業収入	77,137	69,936	110,260	84,909	12,313	21,234
受取利息・配当金収入	43,701	19,444	23,802	23,283	18,754	15,681
雑収入	408,027	425,614	346,508	267,151	297,672	269,501
借入金等収入	0	0	0	0	0	0
前受金収入	1,395,939	1,488,676	1,498,034	1,476,207	1,796,126	1,740,132
その他の収入	994,709	4,511,892	4,965,622	584,048	1,536,071	520,915
資金収入調整勘定	△ 1,732,017	△ 1,793,826	△ 1,705,544	△ 1,729,681	△ 1,758,679	△ 1,990,910
前年度繰越支払資金	6,679,190	7,901,935	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214
収入の部合計	17,805,570	22,563,438	23,575,695	21,461,083	21,781,325	21,049,407
資金支出						
人件費支出	6,106,807	6,180,664	6,367,080	6,363,173	6,416,043	6,570,163
教育研究経費支出	2,100,047	2,282,202	2,418,089	2,572,138	3,253,655	3,109,825
管理経費支出	722,825	2,282,747	883,045	803,235	792,226	827,209
借入金等利息支出	0	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0	0
施設関係支出	238,029	739,237	2,311,800	2,127,014	2,253,798	130,660
設備関係支出	146,650	770,084	429,762	292,603	479,956	120,706
資産運用支出	500,000	3,500,000	500,000	500,000	500,000	200,000
その他の支出	295,886	262,329	1,228,882	435,567	338,956	464,158
資金支出調整勘定	△ 206,609	△ 1,136,569	△ 741,140	△ 315,208	△ 943,524	△ 315,768
翌年度繰越支払資金	7,901,935	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454
支出の部合計	17,805,570	22,563,438	23,575,695	21,461,083	21,781,325	21,049,407



(2) 連続活動区分資金収支計算書 (2016年度~2021年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動による資金収支	収入						
	学生生徒等納付金収入	8,183,986	8,100,228	8,635,006	8,572,638	8,668,969	9,153,867
	手数料収入	208,629	241,293	303,548	315,835	239,136	234,420
	特別寄付金収入	23,433	35,704	32,420	20,925	55,376	26,293
	一般寄付金収入	14,692	9,557	14,412	45,947	61,236	14,678
	経常費等補助金収入	1,471,570	1,489,328	1,629,909	1,559,899	2,050,547	2,332,174
	付随事業収入	77,097	69,885	110,181	84,909	12,313	21,234
	雑収入	408,027	424,036	343,718	267,151	297,567	269,241
	教育活動資金収入計	10,387,434	10,370,031	11,069,194	10,867,303	11,385,144	12,051,907
	支出						
	人件費支出	6,106,807	6,180,664	6,367,080	6,363,173	6,416,043	6,570,163
	教育研究経費支出	2,100,047	2,282,202	2,418,089	2,572,138	3,253,655	3,109,825
	管理経費支出	722,825	2,282,747	883,045	803,001	785,357	827,209
教育活動資金支出計	8,929,679	10,745,614	9,668,214	9,738,313	10,455,055	10,507,196	
差引	1,457,756	△ 375,583	1,400,980	1,128,990	930,089	1,544,711	
調整勘定等	682	772,279	△ 389,969	△ 112,159	298,703	△ 13,406	
教育活動資金収支差額	1,458,437	396,696	1,011,011	1,016,831	1,228,791	1,531,305	
施設整備等活動による資金収支	収入						
	施設設備寄付金収入	5,092	3,892	9,796	12,047	54,324	6,420
	施設設備補助金収入	31,481	59,766	29,178	49,189	66,919	14,787
	施設設備売却収入	0	0	0	512	0	0
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	0	3,000,000	0	0	0	0
	施設設備等準備引当資産取崩収入	0	0	0	0	0	0
	将来構想資金引当特定資産取崩収入	0	750,000	4,150,000	0	630,404	0
	施設整備等活動資金収入計	36,573	3,813,658	4,188,974	61,748	751,647	21,207
	支出						
	施設関係支出	238,029	739,237	2,311,800	2,127,014	2,253,798	130,660
	設備関係支出	146,650	770,084	429,762	292,603	479,956	120,706
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	0	0	0	0	0	0
	減価償却引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	200,000
施設設備等準備引当資産繰入支出	0	0	0	0	0	0	
将来構想資金引当特定資産繰入支出	0	3,000,000	0	0	0	0	
施設整備等活動資金支出計	884,680	5,009,321	3,241,563	2,919,617	3,233,754	451,366	
差引	△ 848,106	△ 1,195,663	947,411	△ 2,857,869	△ 2,482,107	△ 430,160	
調整勘定等	△ 23,044	172,204	178,659	△ 22,566	597,908	△ 25,855	
施設整備等活動資金収支差額	△ 871,150	△ 1,023,459	1,126,070	△ 2,880,435	△ 1,884,199	△ 456,015	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	587,287	△ 626,763	2,137,081	△ 1,863,604	△ 655,407	1,075,291	
その他の活動による資金収支	収入						
	その他の活動資金収入計	678,767	457,246	444,406	390,463	692,880	256,184
	支出						
	その他の活動資金支出計	38,076	49,675	86,055	22,473	29,670	79,453
	差引	640,691	407,572	358,350	367,990	663,210	176,731
調整勘定等	△ 5,233	0	0	0	△ 150	218	
その他の活動資金収支差額	635,458	407,572	358,350	367,990	663,060	176,949	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	1,222,745	△ 219,191	2,495,432	△ 1,495,614	7,653	1,252,240	
前年度繰越支払資金	6,679,190	7,901,935	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	
翌年度繰越支払資金	7,901,935	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	



III. 財務の概要

(3) 連続事業活動収支計算書 (2016年度~2021年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	8,183,986	8,100,228	8,635,006	8,572,638	8,668,969	9,153,867
		手数料	208,629	241,293	303,548	315,835	239,136	234,420
		寄付金	38,142	45,261	47,502	67,622	117,257	41,862
		経常費等補助金	1,471,570	1,489,328	1,629,909	1,559,899	2,050,547	2,332,174
		付随事業収入	77,097	69,885	110,181	84,909	12,313	21,234
		雑収入	383,667	419,325	304,152	267,151	240,405	253,140
	教育活動収入計	10,363,091	10,365,320	11,030,298	10,868,054	11,328,627	12,036,696	
	事業活動支出の部	人件費 (内、退職給与引当金繰入額)	6,014,967 (386,853)	6,137,494 (454,765)	6,311,369 (257,821)	6,378,394 (295,881)	6,280,357 (251,050)	6,522,202 (280,963)
		教育研究経費 (内、減価償却額)	3,047,263 (947,199)	3,127,781 (845,578)	3,451,528 (1,032,769)	3,692,208 (1,119,318)	4,419,676 (1,165,376)	4,378,258 (1,267,544)
		管理経費 (内、減価償却額)	811,279 (88,453)	2,357,213 (74,466)	972,468 (89,423)	909,245 (106,243)	919,191 (133,835)	986,798 (159,589)
		徴収不能額等	196	1,074	670	10	30	0
		教育活動支出計	9,873,704	11,623,562	10,736,035	10,979,857	11,619,254	11,887,259
		教育活動収支差額	489,386	△ 1,258,242	294,264	△ 111,802	△ 290,627	149,437
	教育活動外収支	収入の部	事業活動 受取利息・配当金	43,701	19,444	23,802	23,283	18,754
その他の教育活動外収入			40	51	79	0	0	0
教育活動外収入計			43,741	19,495	23,881	23,283	18,754	15,681
支出の部		事業活動 借入金等利息	0	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額	43,741	19,495	23,881	23,283	18,754	15,681		
経常収支差額	533,128	△ 1,238,747	318,145	△ 88,520	△ 271,874	165,119		
特別収支	収入の部	事業活動 資産売却差額	0	0	0	494	0	0
		その他の特別収入	36,880	4,165,455	45,248	65,593	219,453	29,608
		特別収入計	36,880	4,165,455	45,248	66,087	219,453	29,608
	支出の部	事業活動 資産処分差額	130,506	20,309	26,563	164,062	101,569	54,759
		その他の特別支出	0	0	0	233	6,870	0
		特別支出計	130,506	20,309	26,563	164,296	108,438	54,759
特別収支差額	△ 93,626	4,145,146	18,685	△ 98,209	111,015	△ 25,150		
基本金組入前当年度収支差額	439,501	2,906,399	336,830	△ 186,728	△ 160,859	139,968		
基本金組入額合計	△ 109,936	△ 7,578,152	△ 1,868,163	△ 1,992,883	△ 1,827,081	△ 139,052		
当年度収支差額	329,565	△ 4,671,753	△ 1,531,333	△ 2,179,612	△ 1,987,940	916		
前年度繰越収支差額	2,398,155	2,749,041	1,077,288	△ 454,046	△ 2,633,515	△ 4,621,455		
基本金取崩額	21,321	3,000,000	0	142	0	7,652		
翌年度繰越収支差額	2,749,041	1,077,288	△ 454,046	△ 2,633,515	△ 4,621,455	△ 4,612,887		
(参考)								
事業活動収入計		10,443,712	14,550,270	11,099,427	10,957,424	11,566,834	12,081,986	
事業活動支出計		10,004,210	11,643,871	10,762,598	11,144,152	11,727,693	11,942,018	

【概況】

2021年度は、桃山学院大学と桃山学院教育大学で認められた入学定員増に伴い学生生徒等納付金が増加しました。また2年目を迎えた「高等教育の修学支援新制度」の影響もあり経常費等補助金が増加傾向にあります。同様に教育研究経費においては同制度の実施に伴い奨学金が増加し、大規模な新型コロナウイルス対策を実施した前年度に比べると減少したものの、これまでの教育研究経費に比べて大幅な増となりました。

支出増を上回る収入増の結果、基本金組入前当年度収支差額は1億3,905万円の収入超過となり、当年度の収支状況を示す事業活動収支差額比率は1.16%となりました。(財務比率の推移については、『6.財務比率の推移』をご参照ください。)



(4) 連続貸借対照表 (2016年度～2021年度)

【単位：千円】

科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
資産の部						
固定資産	74,746,204	78,818,799	76,457,583	77,676,174	78,551,103	77,317,381
有形固定資産	46,196,342	50,865,529	52,461,821	53,496,154	54,927,233	53,704,850
土地	21,381,069	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579
建物	18,632,491	20,230,175	20,613,376	20,101,828	23,856,935	22,985,989
構築物	479,244	511,989	577,575	491,045	555,614	483,004
備品 (教育研究用・管理用)	518,892	1,089,935	1,180,727	1,118,356	1,240,939	983,757
図書	5,183,846	5,589,181	5,644,602	5,704,946	5,829,073	5,808,167
車両	800	1,669	2,962	2,832	2,094	1,355
建設仮勘定	0	0	1,000,000	2,634,568	0	0
特定資産	28,299,623	27,749,623	23,799,623	23,999,623	23,469,219	23,469,219
第2号基本金引当特定資産	3,000,000	0	0	0	0	0
第3号基本金引当特定資産	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
奨学資金引当特定資産	2,500,000	2,200,000	1,900,000	1,600,000	1,300,000	1,100,000
退職給与引当特定資産	2,900,000	2,900,000	2,900,000	2,900,000	2,800,000	2,800,000
減価償却引当特定資産	14,840,000	15,340,000	15,840,000	16,340,000	16,840,000	17,040,000
危機管理対策資金引当特定資産	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
将来構想資金引当特定資産	2,534,017	4,784,017	634,017	634,017	3,613	3,613
施設設備等準備引当特定資産	0	0	0	0	0	0
その他の固定資産	250,239	203,647	196,139	180,398	154,651	143,312
長期貸付金	213,488	167,044	127,756	112,015	101,446	90,107
その他 (施設利用権他)	36,751	36,603	68,383	68,383	53,206	53,206
流動資産	8,313,349	8,169,752	10,480,699	8,992,291	9,042,144	10,206,996
現金預金	7,901,935	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454
未収入金	325,718	397,283	216,264	231,043	281,868	195,980
短期貸付金	50,720	41,703	32,222	26,154	19,392	14,731
その他 (前払金他)	34,976	48,023	54,037	52,533	50,669	53,831
資産の部合計	83,059,553	86,988,552	86,938,282	86,668,465	87,593,247	87,524,377
負債の部						
固定負債	2,906,523	2,876,677	3,191,907	3,188,109	3,673,082	3,564,467
長期借入金	0	0	0	0	0	0
学院債 (発行予定含)	0	0	0	0	0	0
長期未払金	0	8,613	339,989	320,970	884,467	806,631
退職給与引当金	2,906,523	2,868,064	2,851,919	2,867,140	2,788,615	2,757,836
長期前受金	0	0	0	0	0	0
流動負債	2,061,517	3,113,963	2,411,633	2,332,343	2,933,011	2,832,788
短期借入金	0	0	0	0	0	0
短期学院債	0	0	0	0	0	0
未払金	177,996	1,096,634	366,493	282,659	347,181	360,110
前受金	1,395,939	1,488,676	1,498,034	1,476,207	1,796,126	1,740,132
その他 (預り金関係他)	487,582	528,653	547,107	573,477	789,705	732,545
負債の部合計	4,968,040	5,990,640	5,603,541	5,520,452	6,606,093	6,397,255
純資産の部						
基本金	75,342,471	79,920,623	81,788,786	83,781,528	85,608,609	85,740,009
第1号基本金	69,408,943	76,987,095	78,709,207	80,701,948	82,529,029	82,660,429
第2号基本金	3,000,000	0	0	0	0	0
第3号基本金	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
第4号基本金	707,922	707,922	853,973	853,973	853,973	853,973
繰越収支差額	2,749,041	1,077,288	△ 454,046	△ 2,633,515	△ 4,621,455	△ 4,612,887
純資産の部合計	78,091,512	80,997,911	81,334,741	81,148,012	80,987,154	81,127,122
負債及び純資産の部合計	83,059,553	86,988,552	86,938,282	86,668,465	87,593,247	87,524,377

【概 況】

本学院は借入金ゼロの財政状態であり、長期的な財務の健全性を示す純資産構成比率も2021年度は92.7%と高く、2020年度の大学法人の全国平均 (医歯系法人を除く) 87.9%と比べても安定した財務基盤であることを示しています。また、短期的な財務の健全性を示す流動比率も同全国平均の256.6%よりも良好な360.3%となっており、長期・短期ともに安定した財務状態であるといえます。(財務比率の推移については、『6.財務比率の推移』をご参照ください。)



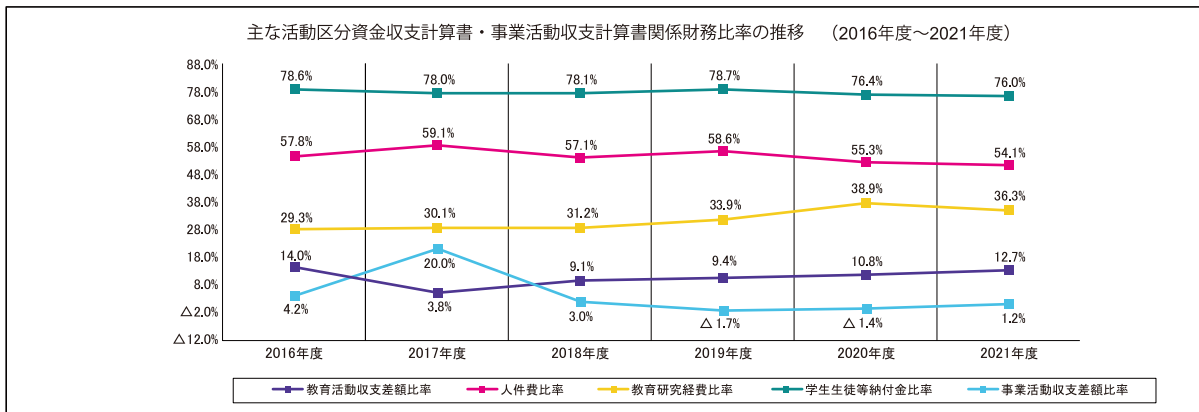
III. 財務の概要

6. 財務比率の推移

(1) 活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書関係財務比率

比率	算式	評価	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1 教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	↑	14.0%	3.8%	9.1%	9.4%	10.8%	12.7%
2 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	↓	57.8%	59.1%	57.1%	58.6%	55.3%	54.1%
3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	↑	29.3%	30.1%	31.2%	33.9%	38.9%	36.3%
4 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	↓	7.8%	22.7%	8.8%	8.3%	8.1%	8.2%
5 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	～	78.6%	78.0%	78.1%	78.7%	76.4%	76.0%
6 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	↑	4.2%	20.0%	3.0%	△1.7%	△1.4%	1.2%
7 経常収支差額比率等	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	↑	5.1%	△11.9%	2.9%	△0.8%	△2.4%	1.4%

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い ～:どちらとも言えない

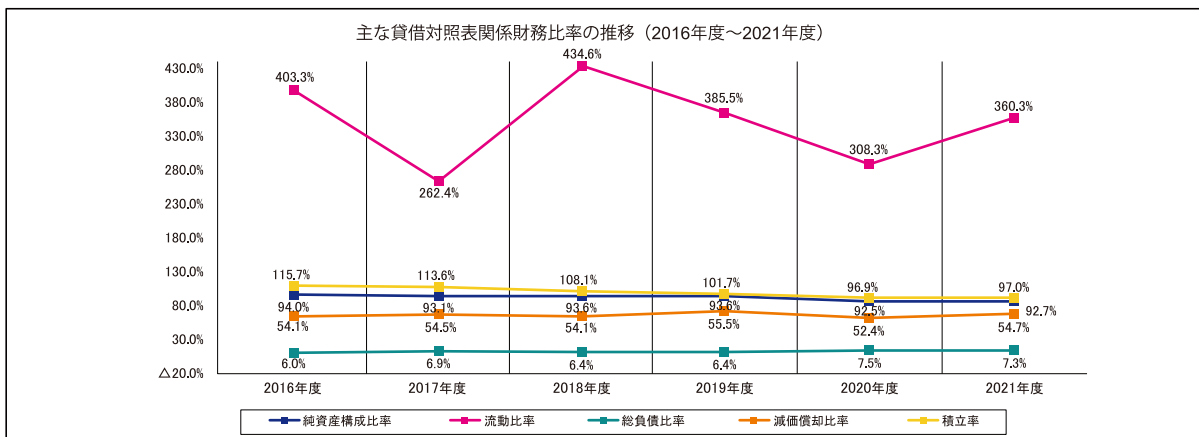


(2) 貸借対照表関係財務比率

比率	算式	評価	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1 純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$	↑	94.0%	93.1%	93.6%	93.6%	92.5%	92.7%
2 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	↓	95.7%	97.3%	94.0%	95.7%	97.0%	95.3%
3 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	↑	403.3%	262.4%	434.6%	385.5%	308.3%	360.3%
4 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	↓	6.0%	6.9%	6.4%	6.4%	7.5%	7.3%
5 減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	～	54.1%	54.5%	54.1%	55.5%	52.4%	54.7%
6 前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	↑	566.1%	516.1%	679.4%	588.2%	483.8%	571.4%
7 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	↑	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.3%	99.3%
8 積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	↑	115.7%	113.6%	108.1%	101.7%	96.9%	97.0%
9 運用資産余裕比率(年)	$\frac{\text{運用資産-外部負債}}{\text{事業活動支出}}$	↑	3.1	2.9	3.0	2.8	2.6	2.6

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い ～:どちらとも言えない

「運用資産」=現金預金+特定資産+有価証券 「外部負債」=総負債-(退職給付引当金+前受金) 「要積立額」=減価償却累計額+退職給付引当金+第2号基本金+第3号基本金





7. その他

(1) 寄付金の状況

2021年度の寄付金活動は、皆様からの温かいご支援により、総額56,424千円のご寄付がありました。本学院の寄付金活動に対して、皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。ご支援いただきました寄付につきましては、ご指定いただいた目的に応じて活用させていただきました。

引き続き、本学院の生徒・学生支援および教育研究環境整備のために、寄付金活動を進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

(ア) 2021年度寄付金受け入れ状況について

【単位：円】

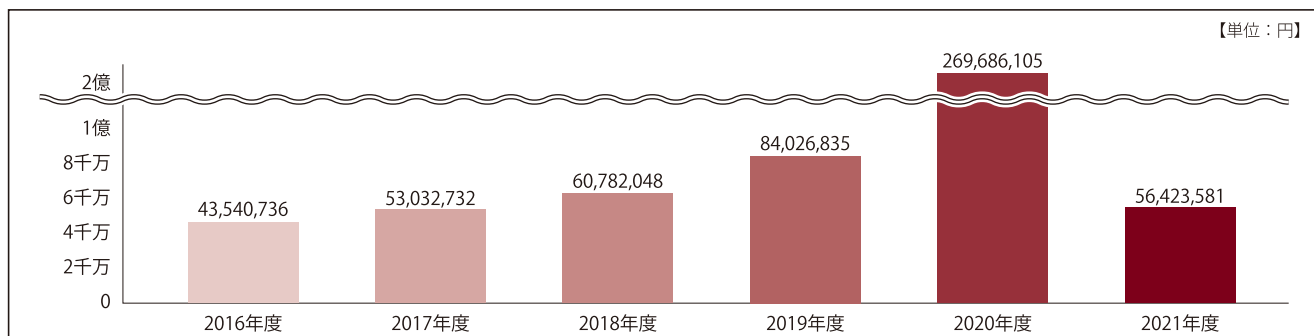
分類	寄付項目	金額
一般寄付	教育振興資金	14,678,461
特別寄付	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援寄付金	1,110,000
	桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金	2,169,000
	桃山学院 社会貢献活動支援寄付金	22,000
	桃山学院 奨学寄付金	761,195
	桃山学院大学 スタートアップ支援寄付金	487,000
	その他の 使途指定 寄付金	施設・設備関係等 課外活動関係等 教育・研究関係等
現物寄付	図書等	9,032,086



桃山学院大学ビジネスデザイン学部

(イ) 寄付金受け入れ状況の推移 (2016年度～2021年度)

【単位：円】



※2017年度は設置者変更にもなう現物寄付を除く。

(ウ) 本学院へのご支援に基づく活動の概況について

①桃山学院 教育振興資金…………… 359 件

桃山学院大学 4,752,623 円／ 桃山学院教育大学 410,000 円／ 桃山学院高等学校 5,306,838 円／ 桃山学院中学校 4,209,000 円
各学校の施設整備や既存校舎改修などの教育環境整備等の活動を実施しました。



桃山学院大学



桃山学院教育大学



桃山学院高等学校



桃山学院中学校

②新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援寄付金 …………… 27 件 1,110,000 円

ノートパソコン・Wi-Fi ルーターの無償貸出等、安心して学ぶための環境整備等を実施しました。





III. 財務の概要

- ③ 桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金 68件 2,169,000円
 体育会系の団体としましては、アメリカンフットボール部、ゴルフ部、硬式野球部、ハンドボール部、自転車部およびアーチェリー部、文化系の団体としましては、吹奏楽部に対してご寄付を賜り、各団体において活動に必要な器具や消耗品の購入等を実施しました。
- ④ 桃山学院 社会貢献活動支援寄付金 13件 22,000円
 コロナ禍の中、海外での活動はできませんでしたが、「まなびの森」森林保全のための活動等を実施しました。
- ⑤ 桃山学院 奨学寄付金 72件 761,195円
 成績優秀者や交換留学生支援等のために奨学金の支給を実施しました。

(2) 補助金の状況

経常費補助金など恒常的に交付される補助金の他、以下の施設設備補助金等が交付されました。

【単位：円】

補助金の種類		金額	単位
令和3年度授業料等減免費交付金		524,384,400	桃山学院大学
		85,558,500	桃山学院教育大学
令和3年度私立学校施設整備費補助金	教室棟3号館310教室特定天井耐震対策工事	10,103,000	桃山学院大学
	私立高等学校等施設高機能化整備費	2,599,000	桃山学院高等学校
令和3年度私立学校情報機器整備費補助金	遠隔授業活用推進事業	2,085,000	桃山学院大学
令和3年度大阪府新型コロナウイルスワクチン職域接種体制整備支援事業補助金		1,330,000	桃山学院教育大学

(3) 有価証券の状況

(ア) 総括表

【単位：円】

種類	当年度（令和4年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	2,600,000,000	2,605,603,700	5,603,700
（うち満期保有目的の債券）	（ 2,600,000,000 ）	（ 2,605,603,700 ）	（ 5,603,700 ）
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	4,306,694,740	4,217,391,910	△ 89,302,830
（うち満期保有目的の債券）	（ 4,306,694,740 ）	（ 4,217,391,910 ）	（ △ 89,302,830 ）
合計	6,906,694,740	6,822,995,610	△ 83,699,130
（うち満期保有目的の債券）	（ 6,906,694,740 ）	（ 6,822,995,610 ）	（ △ 83,699,130 ）
時価のない有価証券	19,000,000		
有価証券合計	6,925,694,740		

(イ) 明細表

【単位：円】

種類	当年度（令和4年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	6,906,694,740	6,822,995,610	△ 83,699,130
株式	—	—	—
投資信託	—	—	—
貸付信託	—	—	—
合計	6,906,694,740	6,822,995,610	△ 83,699,130
時価のない有価証券	19,000,000		
有価証券合計	6,925,694,740		

(4) 借入金の状況

借入金はありません。

(5) 学校債の状況

学校債はございません。

(6) 収益事業の状況

収益事業は行っていません。



(7) 関連当事者との取引の状況

(ア) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次のとおりです。

【単位：円】

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員等の兼任等	事実上の関係				
理事	山田 陽彦	—	—	—	—	—	法務アドバイス	法務アドバイス料の支払（注1）	1,980,000	管.支払手数料支出	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）学内各種委員会等の法務アドバイス料については、専門性に加え、顧問弁護士との過去の契約金額実績を勘案した上で決定しています。

(イ) 学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりです。

名称	株式会社アンデレパートナーズ			
事業内容	建物内外の保守管理・清掃業務、警備業及び情報処理の運用管理支援等			
出資金	9,000,000円	90株		
学校法人の出資状況	9,000,000円	90株	総出資金額に占める割合 100%	
出資の状況	平成28年3月15日	9,000,000円	90株	
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄附の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	【単位：円】			
	当該会社からの受入額	特別寄付金	10,000,000	
		賃借料等	2,391,400	
		出向者給与	12,100,000	
	当該会社への支払額	業務委託費等	782,312,891	
	【単位：円】			
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等	9,000,000	0	0	9,000,000
当該会社への未払金	2,306,710	2,306,710	7,187,906	7,187,906
保証債務	学校法人は当該会社について債務保証を行っていない。			

(8) 学校法人間の財務取引

学校法人間取引は行っておりません。

8. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本学院は連続貸借対照表の概況でも述べたとおり、ストックの面では安定した経営状況であるといえます。一方、フローの面では桃山学院大学・桃山学院教育大学のそれぞれの入学定員数増が認められたことにより、学生生徒等納付金が増加し、2021年度は事業活動収支差額比率1.16%を計上しました。また、基本金組入後の当年度収支差額においても91万円の収入超過となり、収支均衡を維持することができました。

しかしながら、本年度に課外活動や留学支援などコロナ禍において実施できなかった業務が発生したことを考えると、現在の収支構造では近年の厳しい経営環境に対応した収支構造が構築出来ていない状況にあります。そのため、喫緊の対策として、支出面においても教育の質を保証しつつ、可能な限りの経費削減に取り組む必要があります。

今後、少子化、新型コロナウイルス感染症の影響で学校法人を取り巻く環境は厳しくなることが予測されますが、持続性を担保できる財務状況を維持するために、安定した収支構造への転換が課題となっています。



IV. データで見る桃山学院

1. 入学定員・収容定員・入学者数・在籍者数 (2021年5月1日現在)

学部	学科	入学定員(名)	収容定員(名)	1年次	2年次	3年次	4年次	入学者数	編・転入学者数	在籍者数	
桃山学院大学	国際教養	英語・国際文化	275	1,115	275	275	275	290	284	11	1,185
	社会	社会	260	1,040	260	260	260	260	295	6	1,075
		社会福祉	100	400	100	100	100	100	101	2	403
	法	法律	200	800	200	200	200	200	199	3	814
	経済	経済	360	1,440	360	360	360	360	400	1	1,503
	経営	経営	295	1,025	295	225	225	280	325	8	1,083
	ビジネスデザイン	ビジネスデザイン	200	340	200	70	70	-	221	-	366
	計		1,690	6,160					1,825	31	6,429
交換留学生		-	-	-	-	-	-	-	-	-	11

※2015年度 国際教養学部学科名称変更(国際教養学科→英語・国際文化学科)
 ※2019年度 経営学部ビジネスデザイン学科開設
 ※2021年度 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)(収容定員は3学年分)

研究科	専攻	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数		在籍者数	
				2021年度	2020年度	2021年度	2020年度
桃山学院大学 大学院 博士前期課程	文学	言語・文化	10	20	2	5	
	社会学	応用社会学	10	20	8	15	
	経済学	応用経済学	10	20	5	12	
	経営学	経営学	10	20	8	13	
	計		40	80	23	45	
交換留学生		-	-	-	-	1	
研究生		-	-	-	-	5	
桃山学院大学 大学院 博士後期課程	文学	比較文化学	4	12	0	0	
	社会学	応用社会学	3	9	3	7	
	経済学	応用経済学	3	9	5	11	
	経営学	経営学	3	9	0	1	
	計		13	39	8	19	
研究生		-	-	-	-	1	

※2018年度 文学研究科専攻名称変更
(比較文化学専攻→言語・文化専攻)

学部	学科	入学定員(名)	収容定員(名)	1年次	2年次	3年次	4年次	入学者数	編・転入学者数	在籍者数
桃山学院教育大学	人間教育	人間教育	270	795	270	175	175	249	1	777

※2020年度 教育学部教育学科名称変更(教育学部教育学科→人間教育学部人間教育学科)

課程・学科	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数	在籍者数
桃山学院中学校	120	360	123	359
桃山学院高等学校	760	2,280	548	1,979

2. 収容定員充足率 (毎年度5月1日現在)

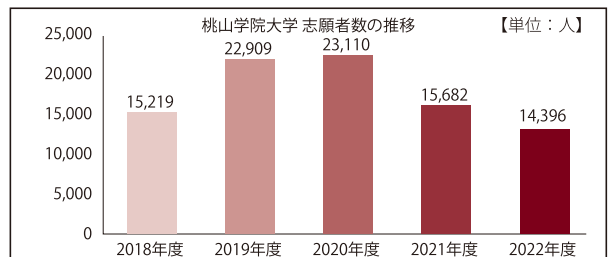
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
桃山学院大学	109.5%	109.4%	107.8%	104.2%	104.4%
桃山学院大学大学院/博士前期課程	53.8%	47.5%	46.3%	48.8%	56.3%
桃山学院大学大学院/博士後期課程	25.6%	28.2%	33.3%	33.3%	48.7%
桃山学院教育大学	-	87.5%	93.3%	95.1%	97.7%

3. 入試状況 (2018年度～2022年度入試)

■ 桃山学院大学 <全制度合計(編・転入学除く)>

学部	学科	2018年度					2019年度					2020年度					2021年度					2022年度					
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
国際教養	英語・国際文化	募集人員	290	2,538	2,515	765	3.3	275	3,391	3,340	960	3.5	275	4,120	4,021	1,269	3.2	275	2,124	2,076	1,153	1.8	275	1,700	1,645	1,254	1.3
		志願者数	2,538	3,391	3,340	960	3.3	3,391	4,120	4,021	1,269	3.2	4,120	2,124	2,076	1,153	1.8	2,124	1,700	1,645	1,254	1.3	1,700	1,645	1,254	1.3	
		受験者数	2,515	3,340	3,340	960	3.3	3,340	4,021	4,021	1,269	3.2	4,021	2,076	2,076	1,153	1.8	2,076	1,645	1,645	1,254	1.3	1,645	1,645	1,254	1.3	
		合格者数	765	960	960	341	3.0	960	1,269	1,269	416	2.6	1,269	410	410	303	2.1	410	303	303	209	2.1	303	209	209	2.1	
		倍率	3.3	3.3	3.3	3.0	3.0	3.3	3.2	3.2	2.6	2.6	3.0	2.1	2.1	2.1	2.1	3.0	2.1	2.1	2.1	2.1	3.0	2.1	2.1	2.1	
入学者数	304	285	285	211	2.1	285	285	285	191	1.9	285	199	199	209	2.1	209	209	209	134	1.6	209	209	209	2.1			
社会	社会	募集人員	260	2,195	2,161	661	3.3	260	3,975	3,902	771	3.0	260	2,622	2,557	1,118	2.3	260	2,859	2,805	1,135	2.5	260	2,859	2,805	1,135	2.5
		志願者数	2,195	3,975	3,902	771	3.3	3,975	4,116	4,044	1,079	3.7	4,116	2,622	2,557	1,118	2.3	2,622	2,859	2,805	1,135	2.5	2,859	2,805	1,135	2.5	
		受験者数	2,161	3,902	3,902	771	3.3	3,902	4,044	4,044	1,079	3.7	4,044	2,557	2,557	1,118	2.3	2,557	2,805	2,805	1,135	2.5	2,805	2,805	1,135	2.5	
		合格者数	661	771	771	341	3.0	771	1,079	1,079	416	2.6	1,079	410	410	303	2.1	410	303	303	209	2.1	303	209	209	2.1	
		倍率	3.3	3.3	3.3	3.0	3.0	3.3	3.2	3.2	2.6	2.6	3.0	2.1	2.1	2.1	2.1	3.0	2.1	2.1	2.1	2.1	3.0	2.1	2.1	2.1	
入学者数	273	253	253	211	2.1	253	248	248	191	1.9	248	199	199	209	2.1	209	209	209	134	1.6	209	209	209	2.1			
法	法律	募集人員	100	1,036	1,007	341	3.0	100	1,371	1,349	403	3.3	100	1,094	1,064	410	2.6	100	525	505	303	2.1	100	377	350	303	2.1
		志願者数	1,036	1,371	1,349	403	3.0	1,371	1,094	1,064	410	2.6	1,094	525	505	303	2.1	525	377	350	303	2.1	377	350	303	2.1	
		受験者数	1,007	1,349	1,349	403	3.0	1,349	1,064	1,064	410	2.6	1,064	505	505	303	2.1	505	350	350	303	2.1	350	350	303	2.1	
		合格者数	341	403	403	341	3.0	403	416	416	303	2.1	416	410	410	303	2.1	410	303	303	209	2.1	303	209	209	2.1	
		倍率	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.6	2.6	2.1	2.1	2.6	2.1	2.1	2.1	2.1	3.0	2.1	2.1	2.1	2.1	3.0	2.1	2.1	2.1	
入学者数	100	109	109	100	1.0	109	88	88	101	1.1	88	88	88	88	1.0	88	88	88	88	1.0	88	88	88	1.0			
経済	経済	募集人員	200	2,173	2,106	703	3.0	200	3,125	3,072	1,064	3.3	200	3,425	3,345	1,613	2.3	200	1,856	1,856	1,134	1.6	200	1,856	1,856	1,134	1.6
		志願者数	2,173	3,125	3,072	1,064	3.0	3,125	3,425	3,345	1,613	2.3	3,425	1,613	1,613	1,134	1.6	1,613	1,856	1,856	1,134	1.6	1,856	1,856	1,134	1.6	
		受験者数	2,106	3,072	3,072	1,064	3.0	3,072	3,345	3,345	1,613	2.3	3,345	1,613	1,613	1,134	1.6	1,613	1,856	1,856	1,134	1.6	1,856	1,856	1,134	1.6	
		合格者数	703	766	766	341	3.0	766	992	992	410	2.6	992	410	410	303	2.1	410	303	303	209	2.1	303	209	209	2.1	
		倍率	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.6	2.6	2.1	2.1	2.6	2.1	2.1	2.1	2.1	3.0	2.1	2.1	2.1	2.1	3.0	2.1	2.1	2.1	
入学者数	211	211	211	191	1.9	211	199	199	209	2.1	199	209	209	134	1.6	209	209	209	134	1.6	209	209	209	2.1			
経営	経営	募集人員	360	4,029	3,949	1,127	3.5	360	6,285	6,167	1,156	3.5	360	5,775	5,652	3,696	2.1	360	3,550	3,475	1,661	2.1	360	3,550	3,475	1,661	2.1
		志願者数	4,029	6,285	6,167	1,156	3.5	6,285	5,775	5,652	3,696	2.1	5,775	3,788	3,788	3,550	2.1	3,788	3,550	3,475	1,661	2.1	3,550	3,475	1,661	2.1	
		受験者数	3,949	6,167	6,167	1,156	3.5	6,167	5,652	5,652	3,696	2.1	5,652	3,696	3,696	3,475	2.1	3,696	3,475	3,475	1,661	2.1	3,475	3,475	1,661	2.1	
		合格者数	1,127	1,156	1,156	371	3.0	1,156	1,663	1,663	663	2.1	1,663	663	663	400	2.1	663	400	400	377	2.1	400	377	377	2.1	
		倍率	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	3.5	2.1	2.1	2.1	2.1	3.5	2.1	2.1	2.1	2.1	3.5	2.1	2.1	2.1	2.1	3.5	2.1	2.1	2.1	
入学者数	371	367	367	355	2.1	367	355	355	400	2.1	355	400	400	377	2.1	400	377	377	377	2.1	377	377	377	2.1			

※1: 2022年度 社会学部社会福祉学科名称変更(社会福祉学科→ソーシャルデザイン学科)
 ※2: 2021年度 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)





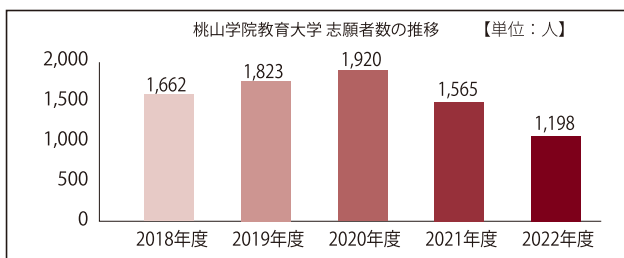
■ 桃山学院大学大学院 <全入試制度合計（秋入学除く）>

研究科・課程	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	研究科・課程	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
文学	募集人員	10	10	10	10	10	経済学	募集人員	10	10	10	10	
	志願者数	5	4	3	7	2		志願者数	13	8	8	12	16
	受験者数	5	4	3	7	2		受験者数	13	8	8	12	15
	合格者数	2	2	2	3	2		合格者数	8	4	7	8	9
	倍率	2.5	2.0	1.5	2.3	1.0		倍率	1.6	2.0	1.1	1.5	1.7
	入学者数	1	0	2	2	2		入学者数	6	2	5	5	8
	募集人員	4	4	4	4	4		募集人員	3	3	3	3	3
	志願者数	0	0	0	0	0		志願者数	0	0	3	5	1
	受験者数	0	0	0	0	0		受験者数	0	0	3	5	1
	合格者数	0	0	0	0	0		合格者数	0	0	3	5	1
倍率	-	-	-	-	-	倍率	-	-	1.0	1.0	1.0		
入学者数	0	0	0	0	0	入学者数	0	0	3	5	1		
社会学	募集人員	10	10	10	10	10	経営学	募集人員	10	10	10	10	
	志願者数	7	9	12	28	33		志願者数	9	9	9	17	22
	受験者数	6	9	11	27	32		受験者数	9	9	9	15	20
	合格者数	6	7	8	12	8		合格者数	5	4	5	8	11
	倍率	1.0	1.3	1.4	2.3	4.0		倍率	1.8	2.3	1.8	1.9	1.8
	入学者数	6	6	7	8	6		入学者数	5	4	3	8	9
	募集人員	3	3	3	3	3		募集人員	3	3	3	3	3
	志願者数	0	2	1	3	0		志願者数	2	2	0	0	0
	受験者数	0	2	1	3	0		受験者数	2	2	0	0	0
	合格者数	0	2	1	3	0		合格者数	2	1	0	0	0
倍率	-	1.0	1.0	1.0	-	倍率	1.0	2.0	-	-	-		
入学者数	0	2	0	3	0	入学者数	2	1	0	0	0		
合計	募集人員	40	40	40	40	40	合計	募集人員	40	40	40	40	
	志願者数	34	30	32	64	73		志願者数	34	30	32	64	73
	受験者数	33	30	31	61	69		受験者数	33	30	31	61	69
	合格者数	21	17	22	31	30		合格者数	21	17	22	31	30
	倍率	1.6	1.8	1.4	2.0	2.3		倍率	1.6	1.8	1.4	2.0	2.3
	入学者数	18	12	17	23	25		入学者数	18	12	17	23	25
	募集人員	13	13	13	13	13		募集人員	13	13	13	13	13
	志願者数	2	4	4	8	1		志願者数	2	4	4	8	1
	受験者数	2	4	4	8	1		受験者数	2	4	4	8	1
	合格者数	2	3	4	8	1		合格者数	2	3	4	8	1
倍率	1.0	1.3	1.0	1.0	1.0	倍率	1.0	1.3	1.0	1.0	1.0		
入学者数	2	3	3	8	1	入学者数	2	3	3	8	1		

■ 桃山学院教育大学 <全制度合計（編・転入学除く）>

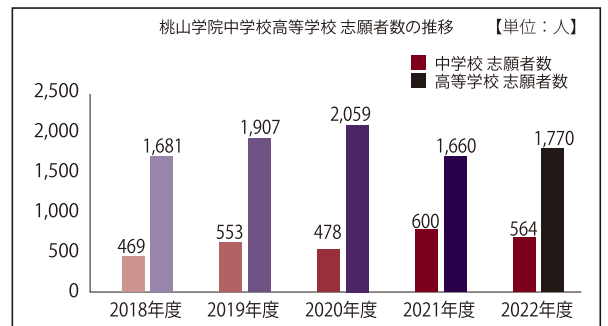
学部・学科 課程※2	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
小学校教育	募集人員	75	75	75	140	140
	志願者数	1,012	958	1,136	982	696
	受験者数	970	927	1,077	946	684
	合格者数	354	348	427	673	614
	倍率	2.7	2.7	2.5	1.4	1.1
	入学者数	76	84	81	135	101
人間教育・人間教育※1	募集人員	50	50	50	50	50
	志願者数	159	258	229	143	134
	受験者数	155	251	219	141	130
	合格者数	92	108	137	107	119
	倍率	1.7	2.3	1.6	1.3	1.1
	入学者数	34	32	32	21	28
健康・スポーツ教育	募集人員	50	50	50	80	80
	志願者数	491	607	555	440	368
	受験者数	486	593	533	422	354
	合格者数	188	220	226	265	281
	倍率	2.6	2.7	2.4	1.6	1.3
	入学者数	76	77	65	93	118
合計	募集人員	175	175	175	270	270
	志願者数	1,662	1,823	1,920	1,565	1,198
	受験者数	1,611	1,771	1,829	1,509	1,168
	合格者数	634	676	790	1,045	1,014
	倍率	2.5	2.6	2.3	1.4	1.2
	入学者数	186	193	178	249	247

※1: 2020年度 教育学部教育学科名所変更(教育学部教育学科→人間教育学部人間教育学科)
 ※2: 2021年度より小学校教育コースから小学校教育課程、幼児保育コースから幼児教育課程、健康・スポーツ教育コースから健康・スポーツ教育課程。



■ 桃山学院中学校高等学校

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
中学校	募集人員	120	120	120	120	120
	志願者数	469	553	478	600	564
	受験者数	325	434	345	452	430
	合格者数	241	276	255	283	280
	倍率	1.3	1.6	1.4	1.6	1.5
	入学者数	120	125	121	124	122
高等学校	募集人員	400	400	400	400	400
	志願者数	1,681	1,907	2,059	1,660	1,770
	受験者数	1,674	1,891	2,047	1,642	1,729
	合格者数	1,647	1,872	1,985	1,624	1,707
	倍率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	入学者数	465	606	630	433	575





IV. データで見る桃山学院

4. 就職状況 (2021年度)

■ 桃山学院大学

□実績 (対象：留年生を除く4年次生のみ) (2022年5月18日現在) ※()内は2020年度確定数字

・卒業生数 [a] ……………	1,226名 (1,229名)	・進学者数 [d] ……………	36名 (22名)
・就職希望者数 [b] ……………	1,082名 (1,107名)	(うち、大学院進学者数)	14名 (13名)
・就職決定者数 (自営含む) [c] ……	1,061名 (1,084名)	・就職決定率 (分母：希望者) [c/b]	98.1% (97.9%)
		・就職決定率 (分母：卒業生) [c/a]	86.5% (88.2%)

□主な就職先

【建設業】

明星工業(株)、大和ハウス工業(株)、(株)ミライト・テクノロジーズ、(株)ミライト、鉄建建設(株)、日本コムシス(株)、日本道路(株)

【製造業】

(株)伊藤園、キリンホールディングス(株)、山崎製パン(株)、永大産業(株)、(株)ウッドワン、クリナップ(株)、ザ・パック(株)、東和薬品(株)、丸善石油化学(株)、(株)ヨータイ、モリ工業(株)、高周波熱錬(株)、文化シャッター(株)、T H K(株)、日工(株)、東洋機械金属(株)、ミネベアミツミ(株)

【卸売業】

エスフーズ(株)、(株)スズケン、高圧ガス工業(株)、(株)ケーエスケー、東邦薬品(株)、(株)メディセオ、アルフレッサ(株)、住商メタルワン鋼管(株)、中山(株)、(株)モリタ、マツモト産業(株)、(株)日伝、トヨタモビリティパーツ(株)、J Kホールディングス(株)、渡辺パイプ(株)、(株)システナ、ナブコドア(株)、ダイワボウ情報システム(株)、加賀電子(株)、(株)カナデン、リコージャパン(株)、北恵(株)、(株)トヨタユーゼック

【小売業】

(株)オークワ、コーナン商事(株)、(株)しまむら、ルイ・ヴィトンジャパン(株)、(株)関西スーパーマーケット、(株)ライフコーポレーション、(株)ヤマダホールディングス、上新電機(株)、(株)ニトリ、(株)エディオン、ウエルシア薬局(株)

【金融・保険業】

(株)紀陽銀行、(株)但馬銀行、(株)徳島大正銀行、(株)ゆうちょ銀行、尼崎信用金庫、大阪厚生信用金庫、大阪信用金庫、(株)オリエントコーポレーション、奈良県農業協同組合、いちよし証券(株)

【不動産業】

積水ハウス不動産関西(株)、サンヨーホームズ(株)

【運輸・通信業】

近畿日本鉄道(株)、(株)サカイ引越センター、西日本電信電話(株)、センコー(株)、大阪市高速電気軌道(株)、日本通運(株)、日本貨物鉄道(株)、日本郵便(株)

【教育・マスコミ・公益・その他サービス業】

(大)岡山大学、大阪府教育委員会、(株)テレビマンユニオン、(株)イーエムシステムズ、旭情報サービス(株)、N C S & A(株)、東洋テック(株)、(株)D T S、N E Cネクサソリューションズ(株)、(株)マイナビ、富士ソフト(株)、総合警備保障(株)、セコム(株)、ニッセイ情報テクノロジー(株)、(一社)日本貨物検数協会、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、社会保険診療報酬支払基金、(株)カナモト、ジャパンエレベーターサービスホールディングス(株)、(株)ワキタ、日本駐車場開発(株)

【医療・福祉関係】

(医)ベガサス、(福)四天王寺福祉事業団、(福)愛徳福祉会、(医)錦秀会、(医)若弘会、(地独)大阪府立病院機構、(株)ビー・エム・エル、(株)ベネッセスタイルケア、(福)四恩学園、(福)大阪市社会福祉協議会、(福)河内長野市社会福祉協議会、(福)和泉市社会福祉協議会、(福)和歌山県福祉事業団、(福)博光福祉会、(福)いずみ野福祉会、(福)そうび会、(福)大阪府障害者福祉事業団、(株)ケア21、(福)清水福祉会、(福)大阪府社会福祉事業団、S O M P O ケア(株)

【公務】

国税専門官、自衛隊、大阪府庁、高知県庁、大阪府役所、警視庁、大阪府警察本部、兵庫県警察本部、奈良県警察本部、大阪市消防局

■ 桃山学院教育大学

□実績 (対象：留年生を除く4年次生のみ) (2022年5月18日現在) ※()内は2020年度確定数字

・卒業生数 [a] ……………	162名 (113名)	・進学者数 [d] ……………	3名 (0名)
・就職希望者数 [b] ……………	153名 (110名)	(うち、大学院進学者数)	1名 (0名)
(うち、教職希望者数) [α] ……	71名 (43名)	・就職決定率 (分母：希望者) [c/b]	100.0% (94.5%)
・就職決定者数 (自営含む) [c] ……	153名 (104名)	・就職決定率 (分母：卒業生) [c/a]	94.4% (92.0%)
(うち、教職決定者数) [β] ……	71名 (42名)	・教職決定率 (分母：希望者) [β/α]	100.0% (97.7%)

□主な就職先

【教職】

大阪府公立高等学校教諭、大阪府公立中学校教諭、大阪市公立小学校教諭、堺市公立中学校教諭、堺市公立小学校教諭、和歌山県公立小学校教諭、北海道公立小学校教諭、千葉県公立小学校教諭、川崎市公立小学校教諭、山梨県公立小学校教諭、愛知県公立小学校教諭、山口県公立中学校教諭、愛媛県公立小学校教諭、北九州市公立小学校教諭、長崎県公立小学校教諭、堺市公立支援学校教諭、京都市公立支援学校教諭、神奈川県公立支援学校教諭、公立小学校講師(八尾市、枚方市、河内長野市、貝塚市、堺市、箕面市、神戸市、京都市、和歌山県)、公立中学校講師(八尾市、羽曳野市、豊中市、田尻町、富田林市)、特別支援学校講師(大阪府、愛媛県)、公立学校養護助教諭(大阪府)、私立学校園養護教諭(帝塚山幼稚園、はつしば学園小学校)

【保育・福祉・医療関係】

(社福)共同保育の会上野芝陽だまり保育園、(社福)大阪福祉事業財団高鷲保育園、(社福)そうび会ふじみ保育園、(社福)昇人会ももの木保育園、(社福)新よどかわ木川第2保育所、(社福)南湖会泉ヶ丘学院、(社福)西成若草会浪速さくら保育園、(社福)さつき会さつきこども園、



(社福)たから福祉会たからこども園、(社福)八尾隣保館キリンこども園、菱岡工業(株)わっしょい保育園、
 (社福)全電通近畿社会福祉事業団知的障害者総合福祉施設愛の家、(特非)地域福祉想像協会ウインク阪南市立児童発達支援センターたんぼぼ園、
 大阪福祉事業財団三島の郷、(社福)福生会嘉齢荘、(株)ピオネスト、(社福)栄寿福祉会ピオーレ名古屋所属、(社福)堺あすなろ会、
 (社福)みささぎ会、(株)笑、(医)生長会ベルランド総合病院、不登校児・病弱児自立支援事業ろーたす

【企業等】

(株)徳島大正銀行、尼崎信用金庫、明星工業(株)、(株)ノダ、中山福(株)、(株)サンコーインダストリー、(株)ライフコーポレーション、
 トヨタカローラ南海(株)、(株)セントラルフルーツ、(株)ドミノピザ・ジャパン、日本情報産業(株)、ユニシステム(株)、(株)SALTO、間口運輸(株)、
 (株)プレサンス住販、(株)グローブ、(株)バンビシャス奈良、(株)アドヴァンス

【公務】

堺市(保育教諭)、魚津市(保育士)、長野県諏訪郡原村一般職(保育士)、自衛官(海)、自衛隊一般曹候補生(陸)、
 河内長野市消防本部、大阪府警察本部、警視庁、岩出市役所

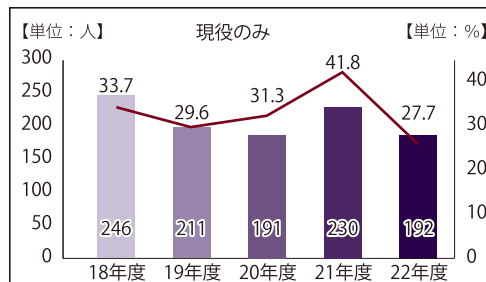
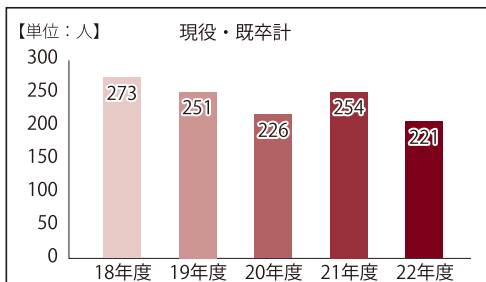
5. 大学入試合格状況 (2022年度入試)

■ 桃山学院高等学校

※合格者数は延べ数で表記 (2022年4月27日現在)

大学名	S英数/英数/文理/国際コース (15クラス)			中高一貫コース (3クラス)			総計	
	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
国公立大学 合計	167	25	192	25	4	29	192	29
東京大	1		1				1	0
京都大	2	2	4				2	2
大阪大	16	1	17	1	1	2	17	2
北海道大	2		2	1		1	3	0
名古屋大	2		2				2	0
神戸大	7	1	8				7	1
大阪教育大	9	3	12	1		1	10	3
京都工芸繊維大	1	1	2	2		2	3	1
和歌山大	22	1	23	5		5	27	1
岡山大	1		1	1		1	2	0
広島大	2		2				2	0
大阪公立大	32	3	35	8		8	40	3
奈良県立大	10	1	11				10	1
その他の国公立大	60	12	72	6	3	9	66	15
私立大学 合計	963	113	1,076	191	29	220	1,154	142
関西大	149	27	176	16	8	24	165	35
関西学院大	98	5	103	10		10	108	5
同志社大	67	17	84	4	1	5	71	18
立命館大	41	3	44	13	1	14	54	4
京都産業大	24	3	27	3		3	27	3
近畿大	178	20	198	30	11	41	208	31
甲南大	26	2	28	4		4	30	2
龍谷大	72	4	76	18	4	22	90	8
早稲田大	3	2	5				3	2
慶応義塾大	1	2	3				1	2
上智大	1		1				1	0
立教大	6	2	8				6	2
桃山学院大	31	1	32	12		12	43	1
桃山学院教育大	1		1	3		3	4	0
その他の私立大	265	25	290	78	4	82	343	29
各省庁所管の大学校 合計	5	2	7	8	0	8	13	2
防衛医科大学校				1		1	1	0
防衛大学校	4	1	5	6		6	10	1
職業能開大学校	1		1				1	0
水産大学校		1	1	1		1	1	1
海外大学 合計	2	0	2	0	0	0	2	0
アリゾナ州立大学	アメリカ	1	1				1	0
シンガポールマネジメント大学	シンガポール	1	1				1	0

◆国公立大学合格者推移



◆国公立大学現役合格率推移

年度	現役国公立大学合格者数	卒業生数	割合 (%)
20年度	191	611	31.3%
21年度	230	550	41.8%
22年度	192	692	27.7%



IV. データで見る桃山学院

6. 国際交流 (2021年度)

■ 桃山学院大学

国・地域	海外学術交流協定 大学数・機関数※1 (2022年3月現在)	海外留学 派遣者数※2 (桃山学院大学⇒海外)	外国人留学生 受入数※3 (海外⇒桃山学院大学)	国・地域	海外学術交流協定 大学数・機関数※1 (2022年3月現在)	海外留学 派遣者数※2 (桃山学院大学⇒海外)	外国人留学生 受入数※3 (海外⇒桃山学院大学)
中国	6		192※うち4名はオンラインによる	英国	3		
韓国	5	10※うち6名はオンラインによる	9※うち4名はオンラインによる	ドイツ	5	1	4※うち4名はオンラインによる
台湾	4		4	フランス	2	1	6※うち6名はオンラインによる
マレーシア	1			オランダ	1		1※うち1名はオンラインによる
ベトナム	3	2※オンラインによる	12※うち2名はオンラインによる	オーストリア	2		
アジア				チェコ	1		
インドネシア	2		6	ポーランド	1		
フィリピン	3			ロシア	1		4※うち3名はオンラインによる
タイ	2		2	イタリア	2		
インド	1		1	スペイン	2		
ミャンマー			1	フィンランド	2		
カンボジア	1			中東	トルコ	1	
大洋州				合計	65	16 (12)	242 (193)
オーストラリア	2						
ニュージーランド	1						
北米							
米国	7						
カナダ	4	2※うち1名はオンラインによる					

※1:新規協定校のうち、2大学(タイ1、フィリピン1)は学内手続き(国際化推進会議承認)終了済、協定書締結作業中。

※2:各種留学・短期海外研修・海外インターンシップ、国際ボランティア等の派遣先国・地域(オンライン含む)

※3:正規課程留学生(在留資格申請中の者を含む)の出身国・地域、交換留学生・日本語プログラム研修生の派遣元大学の国・地域

※()内は2020年度実績

■ 桃山学院教育大学

<海外学術交流協定大学数・機関数>(2022年3月現在)

国・地域	大学・機関数
カンボジア	1
韓国	1
カナダ	1
フィリピン	1
ニュージーランド	2

<海外研修実績>

プログラム名	期間	派遣先	参加者数
マンツーマン交流プログラム ※4 (会話パートナープログラム)	①5/17~7/30 ②9/22~12/17	カナダ・ウォータールー大学 レニソン校	①5名 ②6名
グループ交流プログラム ※4 (Language and Culture Corner Program)	①1/31~3/18	カナダ・ウォータールー大学 レニソン校	4名
マンツーマン英会話プログラム ※4	夏季休暇 (2~4週間)	フィリピン中央大学提携 語学学校	4名
ヒューム先生と英語を楽しもう (セミプライベートレッスン)	前期・後期 (3~4ヶ月)	学内 ※対面プログラム	①前期10名 ②後期11名

※4:オンラインプログラム

■ 桃山学院中学校高等学校

<海外留学・海外研修実績>

対象	プログラム名	期間	派遣先	参加者数
文理コース・S英数コース・英数コース	米国聖公会関係学校交換留学制度 ※新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言により帰国	中止		新型コロナウイルス 感染症のため
文理コース・S英数コース・英数コース	カナダ語学研修	中止		新型コロナウイルス 感染症のため
	マレーシア研修	中止		新型コロナウイルス 感染症のため
国際コース	カナダ短期留学	7/8~7/21	アメリカ(ハワイ) ※先行・期間変更	67
	アジア研修	中止		新型コロナウイルス 感染症のため
	カナダ長期留学	2022年3月~1年間	ブリティッシュコロンビア州など	16

<受入実績>

種別	国・地域	期間	受入人数
米国聖公会関係学校交換留学留学生	アメリカ	2020年11月~2022年6月	2
正規課程留学生	中国	中止	0

7. 学費・諸納付金 (2021年度)

		項目	金額
桃山学院大学 (※1)	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科を 除く全学部学科	入学金	230,000円 入学年度のみ
		授業料	729,000円 年額
		施設費	300,000円 年額
	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科	入学金	230,000円 入学年度のみ
		授業料	729,000円 年額
		施設費	240,000円 年額
桃山学院大学大学院 (※2・3)	入学金	300,000円 入学年度のみ	
	授業料	525,000円 年額	
	施設費	200,000円 年額	
桃山学院教育大学 (※4)	入学金	230,000円 入学年度のみ	
	授業料	800,000円 年額	
	施設設備費	175,000円 年額	
桃山学院中学校 (※5)	教育充実費	175,000円 年額	
	入学金	200,000円 入学年度のみ	
	授業料	620,000円 年額	
桃山学院高等学校 (※6)	入学金	200,000円 入学年度のみ	
	授業料	620,000円 年額	

※1 その他委託徴収金として、教育後援会費、同窓会費があります。

※2 各研究科博士前期課程(修士課程)は単位制学費の選択が可能です(社会人のみ)。

※3 その他委託徴収金として、同窓会費があります。

※4 その他委託徴収金として、後援会費、学生会費、学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険があります。

※5 その他徴収費として、PTA会費、生徒会費、体験学習費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。

※6 その他徴収費として、PTA会費、自治会費、修学旅行費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。

V. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済支援・学習環境等支援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けまして、桃山学院大学、桃山学院教育大学、桃山学院中学校高等学校においては、学生・生徒その他関係者の皆様の健康と安全を確保しつつ、教育の機会および質を維持するため、各キャンパス内の学習環境整備ならびに経済的な支援等を行いました。

1. 桃山学院大学

【春学期】

「新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じたうえで、原則として対面授業」とする方針を定めましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、結果的には遠隔授業と対面授業を組み合わせて開講しました。また遠隔授業については、教材配付型の遠隔授業は行わず、同時双方向型授業を基本として、必要に応じてオンデマンド型の授業も実施しました。なお学生においては、基礎疾患や感染不安等の理由でやむを得ない場合、申請を行うことで対面授業を遠隔授業で出席することも可としました。

【秋学期】

春学期同様、「新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じたうえで、原則として対面授業」とする方針を定め、一時期は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により遠隔授業を組み合わせて開講しましたが、11月以降は、受講生180名以上の授業を除き、原則対面授業として開講しました。なお春学期同様、学生においては、基礎疾患や感染不安等の理由でやむを得ない場合、申請を行うことで対面授業を遠隔授業で出席することも可としました。

<キャンパス内での感染予防への取り組み>

キャンパス入構時の検温/入構記録の実施/エレベーターの利用制限/授業中の3密回避/教室入室時の消毒/換気・換気の徹底/教室、トイレ等の消毒・除菌・清掃/飛沫防止パーテーション・ボードの設置/マスクおよびフェイスシールドの着用/窓口・事務室の衛生管理/パソコン自習室(実習室)の衛生管理/図書館の衛生管理/



キャンパス内飲食スペースの衛生管理/「新しい生活様式」を踏まえた課外活動/卒業式のyoutubeライブ配信

<経済支援>

・個別支援

- ①授業料減免制度:申請期間の延長、申請用件の緩和
- ②教育ローン利子補給奨学金:給付期間延長
- ③通信機器の無償貸出(要申込):ノートパソコン、モバイルWi-Fiルーターの無償貸出
- ④Microsoft 365の無償提供:Microsoft 365のアプリが無償で利用可能
- ⑤コロナ禍の厳しい経済環境を配慮し、学費納入期限を通常よりも延長

<学習環境等支援>

(1) 学びに関する取り組み

- ①本学専用教科書販売Webサイトを通じた教科書のオンライン販売をしました。
- ②学生向け授業用ポータルサイト「M-Port」での授業等に関する質問や疑問がある場合のQ&Aを公開しました。
- ③Microsoft 365の無償利用案内:本学学生は1人につき、個人で所有するPC、スマートフォン、タブレットの各5台ずつ、計15台まで、Word、Excel、PowerPoint、Teamsなどの「Microsoft 365」の各種アプリを無償で利用できることを案内しました。
- ④2020年度に引き続き、学内でも遠隔授業が受講できるよう、通信環境と教室を整備しました。
- ⑤2020年度に引き続き、大学図書館の本を郵送で借り、返却できるようにしました(学生の費用負担なし)。また貸出期間も延長しました。
- ⑥新入生の学生生活にかかる不安を解消するため、各学部・学科において「桃山スタートアップ」を実施しました。

(2) 教育に関する取り組み

- ①教員向け遠隔授業に関するサポートデスク:2020年度に引き続き、対面授業の録音・録画方法や、遠隔授業で利用するツールの操作サポートを含む技術面の支援、遠隔授業に関する手法やコンテンツの作成方法等のソフト面の支援を行いました。
- ②遠隔授業等に関する教員用・学生用のQ&Aを公開しました。

- ③2021年度全学FD研修会をオンラインおよびオンデマンド配信で実施しました。
- ・M-Port操作説明会
 - ・秋学期授業に関するFD研修会（遠隔授業に関する説明、遠隔授業、オンデマンド配信に関するツールの説明など）

<各活動における取り組み>

(1) キャリア形成・就職支援

2020年度よりキャリア形成支援や就職支援に関する新しい取り組みを開始しました。

- ①将来のことや就職活動の電話相談
- ②Webでの就職面談
- ③就職活動に役立つ動画等の配信
- ④オンラインを活用した企業説明会



(2) 学生生活支援

- ①春学期はクラブ対象、秋学期はクラブ・サークル対象の新入生勧誘イベントを開催しました。
- ②1年次生に対する学生生活サポートとして、履修方法やカリキュラム、学生生活などに関する説明、キャンパスツアーや学生交流などを学部ごとで行いました。



- ③「何でも相談コーナー」を開設：2020年度に引き続き、大学生活や勉強等の不安・相談を、学生スタッフがオンライン面談やTwitter上で回答するサービスを提供しています。

- ④2021年12月から2022年1月に100円夕食・100円弁当を販売しました。

- ⑤学生のキャンパスライフや課外活動が大きく制限されたことを受け、2020年度より、SNSでキャンパスに通う学生たちの姿を写真で配信する「ももフィルム」とともに、クラブ活動や特技をもつ学生たちの活動を動画配信する「ももログ」を開始しました。



- ⑥学生相談室のカウンセラー（臨床心理士）との相談に、オンラインも選択できるようにしました。

(3) 国際交流等

- ①コロナによる経済的な影響にも配慮し、オンラインや国内実施プログラムを活用した国際センタープログラムの整理・再編案を策定しました。



- ②交換留学、語学留学の海外派遣を再開しました。
- ③交換留学生をオンラインで受け入れました。
- ④オンライン海外研修およびオンライン認定プログラム「MY CHOICE」を実施しました。
- ⑤国際交流特別講義において、タイ・チェンマイ大学および長崎大学経済学部との共修授業を実施しました。
- ⑥正規留学生全員に対し、オンライン個人面談を実施しました。
- ⑦国際セミナー（2回）を開催しました。
- ⑧Online Buddyプログラムを実施しました。
- ⑨日本人学生、外国人留学生のオンライン交流会を実施しました。
- ⑩外国語教育センターの英語・日本語学習オンライン課外プログラムを実施しました。

2. 桃山学院教育大学

【第1学期】

対面授業とオンライン授業を組み合わせて開講しました。オンライン授業では、以下の3つのパターンを使い分けながら授業を行いました。

- ・教材配布型：授業資料を配布し、課題を提示。その後、フィードバックを行う。
- ・オンデマンド型：録画・録音した授業を配信し、受講者が視聴。
- ・同時双方向型：授業をライブ配信。教員と受講者が顔を合わせて授業を行う。

【第2学期】対面授業とオンライン授業を組み合わせて開講しました。

<キャンパス内での感染予防への取り組み>

キャンパス入構時の検温／入構記録の実施／エレベーターの利用制限／授業中の3密回避／教室入室時の消毒／換気の徹底／教室、トイレ等の消毒・除菌・清掃／マスクおよびフェイスシールドの着用／窓口・事務室の衛生管理／パソコン自習室（実習室）の衛生管理／図書館の衛生管理／キャンパス内飲食スペースの衛生管理／「新しい生活様式」を踏まえた課外活動



<経済支援>

- ①授業料減免制度：家計が急変し、授業料の納付が困難となった学生を対象とした独自支援を継続実施しました。
- ②(国の)『学生の学びを継続するための緊急給付金(新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある学生等の学びを継続するため、JASSOから10万円を一律支給する制度)』について、複数回にわたり受付期間を設け推薦を実施しました。
- ③通信機器の無償貸出(要申込)：ノートパソコン、モバイルWi-Fiルーターの無償貸出

<学習環境等支援>

(1) 学びに関する取り組み

- ①担任制による個別支援：どんな些細なことでも、不安なことなどがあればチューターへ相談する体制を組んでおり、チューターが中心となって、学生にきめ細かな対応を実施しました。
- ②本学では従来から教学においてICT（情報通信技術）の活用を推進。学生・教職員が円滑に対応できるようサポートマニュアル（学生向け・教員向け）冊子を作成し、全員に配付。また、学内組織「ICT教育ワーキンググループ」を設置し、直面する課題に適宜対応することで、ICTの活用を更に推進しました。
- ③教科書のオンライン販売開始。
- ④授業等についてのFAQを大学Webサイトおよび学生向け授業用ポータルサイト「Universal Passport」に公開しました。

(2) 教育に関する取り組み

- ①教員向け遠隔授業に関するサポートデスク：2020年度に引き続き、対面授業の録音・録画方法や、遠隔授業で利用するツールの操作サポートを含む技術面の支援、遠隔授業に関する手法やコンテンツの作成方法等のソフト面の支援を実施しました。

<各活動における取り組み>

(1) 学生生活支援

- ①新入生に向けた全クラブ・同好会の勧誘・活動紹介等の動画を「新入生ガイダンス」内で上映。紹介チラシ配布(7/15、16)。食堂前に各クラブ紹介チラシコーナーを設置しました。

(2) 国際交流等

- ①交流協定校とオンラインによる交流プログラム(マンツーマンおよびグループ)を実施しました。
- ②オンラインによる夏季短期英語プログラムを実施しました。
- ③チャプレン補による英会話レッスン(対面)を実施しました。

3. 桃山学院中学校高等学校

分散登校や短縮授業は行わず通常形態での教育活動を継続しました。但し、ご高齢の方や基礎疾患をお持ちの方と同居されており、感染にご不安がある場合には担任または学年主任まで相談してもらおうようにしました。

<キャンパス内での感染予防への取り組み>

体調確認シート(毎朝検温し入力)/マスクの着用/昼食時は前を向いて静かに取る。教員による巡回指導/行動調査シートの配布(放課後の行動や、マスクを外して会話、発声した場面等を記録)/各クラスに消毒液を配置(共用部の消毒用)/各教室個人懇談時にはアクリル板を設置/食堂の利用(対面はアクリル板を使用。座席数は約半数)/高校入学式:2部開催(9時~11時~)、保護者の出席は各家庭1名/中学入学式:ダビデジムにおいて、14時~開催、保護者の出席は各家庭2名/高校卒業式:2部開催(9時~13時~)LIVE配信、保護者の出席は各家庭1名/中学卒業式:(10時~)録画配信、保護者の出席は各家庭2名



- (4) 高校2年修学旅行は日程調整の上、北海道方面(7月)、沖縄方面(3月)を実施しました。
- (5) 文化祭は、日程調整の上、学内者のみ(保護者も無し)で11/19~20で開催しました。
- (6) 中学3年修学旅行は、予定通り(関東方面) 10/25~29で実施しました。
- (7) 高校3年修学旅行[アスリート]は、中止しました。

<学習環境等支援>

(1) 学びに関する取り組み

- ① 出席停止となる生徒には授業のライブ配信を実施しました。
- ② 感染リスクの高い教育活動は実施しないようにしました。
 - ・音楽における「室内で児童生徒等が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
 - ・家庭、技術・家庭における「児童生徒等同士が近距離で活動する調理実習」
 - ・図画工作、美術や工芸等における「児童生徒等同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
 - ・理科における「児童生徒等同士が近距離で活動する実験や観察」
 - ・体育、保健体育における「児童生徒等が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」
- ③ 生徒の家庭に高齢者がいるなどで保護者からの要望があった場合は授業をライブ配信しました。
- ④ 緊急事態宣言期間中は、自学自習の場である「自習ステージ」の使用時間を短縮して開催しました。
- ⑤ 応用力を強化する希望制・講座選択制の講習「M1ゼミ」については、感染予防を徹底し実施しました。
- ⑥ オンラインでの進路指導を実施しました。
- ⑦ 感染予防を徹底し、ハイレベル模試(京大・阪大)の校内受験を実施しました。

(2) 留学に関する取り組み

- ① 国際コース長期留学は、予定通り2月に、カナダに出発しました。
- ② 国際コース短期留学は、ハワイへ変更し、7月に実施しました。
- ③ 国際コースアジア(台湾)研修は、実施できませんでした。
- ④ カナダ語学研修・マレーシア研修は、実施できませんでした。

(3) 教育に関する取り組み

- ① オンライン授業についての意見交換を、教科会議内で実施しました。

(4) その他の取り組み

- ① 学級会はオンライン開催、学級懇談会(保護者との三者面談)については、オンラインでも実施しました。

<各活動における取り組み>

- (1) クラブ活動については、『府立学校における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル「部活動に関する留意事項」』に準じて行いました。
- (2) 高校体育祭は中止、中学体育祭(6/19)は本校グラウンドにおいて無観客で実施しました。
- (3) 学級会はオンライン開催、PTA総会は中止しました。

法人事務局

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



桃山学院大学

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



あべのBDL (ビジネスデザイン・ラボ)

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-57



本町サテライト

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 3-5-19

大阪ディーアイシービル 4F

桃山学院教育大学

堺キャンパス

〒590-0114 大阪府堺市南区榎塚台 4-5-1



桃山学院中学校高等学校

昭和町キャンパス

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-64

